

# 2023年度事業報告

## I 法人本部事務局

### 1 適正かつ効率的な法人経営等

#### (1) 理事会・評議員会等の開催

##### 理事会・評議員会の開催状況

開催日	会議名	議題
6月6日(火)	第1回理事会	議案 第1号議案 2022年度事業報告 第2号議案 2022年度決算報告及び監査報告 第3号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任の提案 第4号議案 評議員候補者の評議員選任委員会への推薦 第5号議案 会計監査人の選任提案及び報酬額の決定 第6号議案 定時評議員会の招集 報告事項 1 中期経営計画の達成状況 2 第2次経営計画の2023年度進行予定 3 社会福祉充実残額の算定結果 4 2022年度横浜市指導監査の結果 5 三菱UFJ銀行からの借入利率の変更 6 新型コロナウイルス感染症対応 7 横浜医療福祉センター港南敷地外周の擁壁修繕工事
6月27日(火)	定時評議員会	議案 第1号議案 2022年度事業報告 第2号議案 2022年度決算報告 第3号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任 第4号議案 会計監査人の選任 報告事項 1 中期経営計画の達成状況 2 第2次経営計画の2023年度進行予定 3 三菱UFJ銀行からの借入利率の変更 4 新型コロナウイルス感染症対応 5 横浜医療福祉センター港南敷地外周の擁壁修繕工事
6月27日(火)	第2回理事会	議案 第1号議案 理事長及び業務執行理事の選任 第2号議案 業務執行理事の担当業務

11月7日(火)	第3回理事会	議案 第1号議案 第2回評議員会の招集 報告事項 1 2023年度上半期の事業報告 2 2023年度上半期の収支状況報告 3 2023年度上半期の第2次経営計画の進捗状況 4 横浜医療福祉センター港南敷地外周の擁壁修繕工事
11月21日(火)	第2回評議員会	報告事項 1 2023年度上半期の事業報告 2 2023年度上半期の収支状況報告 3 2023年度上半期の第2次経営計画の進捗状況 4 横浜医療福祉センター港南敷地外周の擁壁修繕工事
3月12日(火)	第4回理事会	議案 第1号議案 2024年度事業計画案 第2号議案 2024年度予算案 第3号議案 就業規則の一部改正 第4号議案 非常勤職員就業規則の一部改正 第5号議案 役員等損害賠償責任保険契約の締結 第6号議案 第3回評議員会の招集 報告事項 1 2023年度内部監査の結果 2 令和5年度社会福祉法人に対する指導監査の結果 3 理事長専決事項の報告 (1) 内部管理体制の基本方針の一部改正 (2) 社会貢献活動表彰規程の制定 4 その他 (1) 生活介護事業所における医療的ケアを含む実態調査 (2) 横浜医療福祉センター港南の医療事故
3月26日(火)	第3回評議員会	報告事項 1 2024年度事業計画 2 2024年度予算 3 生活介護事業所における医療的ケアを含む実態調査 4 横浜医療福祉センター港南の医療事故

(2) 役員等施設視察会の開催（対象：2019年9月以降に就任した理事及び評議員）

実施日	施設名	参加役員
2月6日(火)	横浜医療福祉センター港南	評議員1名
2月13日(火)	横浜療育医療センター たちほどがや	評議員2名
2月26日(月)	地域療育センターあおば	理事1名



施設視察会の様子

(3) 内部監査の実施

【監査項目】 公用車の取り扱い・金庫及び小口現金管理・超過勤務係る手続き

実施日	施設名	結果及び改善是正状況
10月18日(水)	横浜療育医療センター	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
10月20日(金)	たちほどがや	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
10月25日(水)	横浜医療福祉センター港南	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
10月27日(金)	地域療育センターあおば	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
10月31日(金)	法人本部事務局	軽微な指摘事項あり、設備関係以外全て改善・是正済

(4) 寄附金受入れ状況

施設名	金額	件数
法人本部事務局	-	-
横浜医療福祉センター港南	355,000円	6件
横浜療育医療センター	560,000円	3件
地域療育センターあおば	-	-
たちほどがや	150,000円	3件
寄附金総額	1,065,000円	15件

### (5) 発生主義による会計処理の導入準備

直近の収支状況を迅速かつ適正に把握し、タイムリーな経営判断を可能にするため、2024年度より現金主義から発生主義への切り替えを決定した。切り替えをスムーズに行うため、顧問税理士に助言を求め、月次決算の報告日やそれに関する会議の開催日の変更、委託業者等への支払い業務の日程を関係部署と調整し、ロードマップを作成した。

## 2 第2次経営計画の確実な進捗管理

### (1) 経営会議、理事会及び評議員会で進捗報告

実施日	活動内容
9月5日(火)	本部会議 上半期進捗報告
9月19日(火)	横浜医療福祉センター港南 上半期進捗報告
9月21日(木)	たちほどがや 上半期進捗報告
9月25日(月)	地域療育センターあおば 上半期進捗報告
9月26日(火)	横浜療育医療センター 上半期進捗報告
11月7日(火)	第3回理事会 上半期進捗報告
11月21日(火)	第2回評議員会 上半期進捗報告
4月16日(火)	横浜医療福祉センター港南 下半期進捗報告
4月22日(火)	地域療育センターあおば 下半期進捗報告
4月23日(木)	横浜療育医療センター 下半期進捗報告
4月26日(金)	たちほどがや 下半期進捗報告

## 3 人材の確保・育成・定着

### (1) 各施設の安定的な運営を支える職員の採用・確保

#### ・職員採用数【常勤、限定常勤】

看護師 26人、生活支援員 18人、保育士 7人、その他 33人 計 84人

#### ・職員退職者数【常勤、限定常勤】

看護師 31人、生活支援員 23人、保育士 5人、その他 21人 計 80人

#### ・就職セミナーの開催 23回、参加者数 60人

#### ・学校訪問 6校

#### ・合同就職説明会への参加 10回 174人参加

### (2) 時代に適した人材育成策の実施・検討と第2次経営計画の推進

#### ・資格取得制度の創設

介護福祉士実務者研修、介護職員初任者研修受講者各1人に貸与

#### ・新採用職員研修 研修受講者 90人

### (3) より働きやすい職場づくりに向けた取り組み

#### ・セルフチェックシステムの導入

7、8月に行ったストレスチェックの結果を基に個別アドバイスを実施

## II 横浜医療福祉センター港南運営事業

居住支援部門の持続的なサービス充実とともに、在宅支援部門の新たな取り組みが課題となっている中で、職員の恒常的な欠員が事業実施に大きな影響を及ぼした。そのため、人材の確保だけでなく、業務の改善・効率化を工夫することによって、職員が主体的に業務に取り組めるような職場環境づくりと人材定着に努めた。

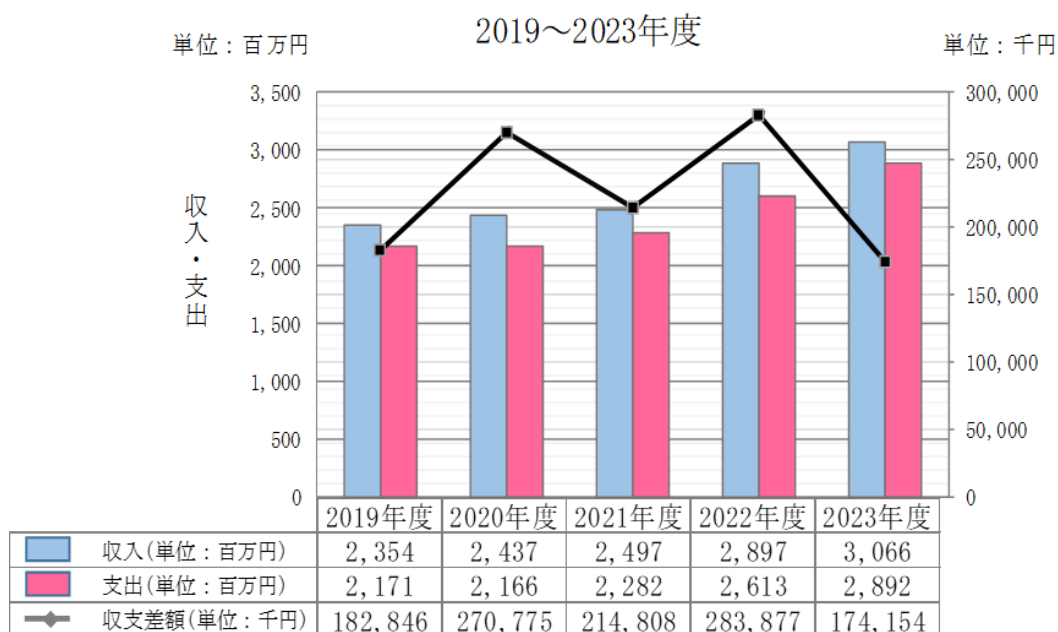
長期入所では下半期に利用者2名が逝去されたが、上半期の実績が目標値を上回っていたため目標達成となった。短期入所は、職員の欠員によって暫定的に使用ベッド数を減じたため、目標値を9.3%下回った。また、外来診療についても短期入所の減床の影響によって、目標値を5.6%下回った。収支については、入院診療収入が好調であり、物価高騰対応支援金や新型コロナウイルス感染症関連の補助金により、収入は増加した。支出については、関東信越厚生局による適時調査の結果、1億円を超える入院診療報酬返還金が発生したが、結果として、予算を上回る増収となった。

なお、2月に発生した短期入所者に係る医療事故については、医療事故調査委員会による検証結果をふまえて、職員一丸となって再発防止に取り組んでいる。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名		目標値	実績	達成率
長期入所	上期	142.1名/日	142.8名/日	100.5%
	下期	142.1名/日	142.0名/日	99.9%
短期入所	上期	14名/日	13.6名/日	97.1%
	下期	14名/日	11.9名/日	85.0%
外来診療	上期	119.5名/日	111.7名/日	93.5%
	下期	119.5名/日	112.8名/日	94.4%

## 2 資金収支差額の推移



2023年度は、入院診療収入が好調であったこと、物価高騰対応支援金や新型コロナウイルス関連の補助金などにより収入は増加した。

一方で、2020年度～2022年度分の入院診療報酬の返還金1億1千万円の支出があったが、人件費が抑えられたこともあり、収支差額は174,154千円で予算を上回った。

## 3 センター全体の実績

### (1) 長期・短期・入院利用状況

(前年：120床・6+ $\alpha$ 床・128床)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期 (144床)	定数	4,320	4,464	4,320	4,464	4,464	4,320	4,464	4,320	4,464	4,464	4,176	4,464	52,704	51,584	102.2%
	実績数	4,280	4,406	4,305	4,423	4,418	4,296	4,454	4,265	4,404	4,398	4,073	4,388	52,110	49,108	106.1%
	1日平均	142.7	142.1	143.5	142.7	142.5	143.2	143.7	142.2	142.1	141.9	140.4	141.5	142.4	134.5	105.8%
	占床率	99.1%	98.7%	99.7%	99.1%	99.0%	99.4%	99.8%	98.7%	98.7%	98.5%	97.5%	98.3%	98.9%	95.2%	103.9%
短期 (入院含む16床)	定数	480	496	480	496	496	480	496	480	496	496	464	496	5,856	4,864	120.4%
	実績数	398	412	404	429	437	418	432	419	425	307	292	297	4,670	4,173	111.9%
	1日平均	13.3	13.3	13.5	13.8	14.1	13.9	13.9	14.0	13.7	9.9	10.1	9.6	12.8	11.4	112.3%
	占床率	82.9%	83.1%	84.2%	86.5%	88.1%	87.1%	87.1%	87.3%	85.7%	61.9%	62.9%	59.9%	79.7%	85.8%	92.9%
総合計 (160床)	定数	4,800	4,960	4,800	4,960	4,960	4,800	4,960	4,800	4,960	4,960	4,640	4,960	58,560	56,448	103.7%
	実績数	4,678	4,818	4,709	4,852	4,855	4,714	4,886	4,684	4,829	4,705	4,365	4,685	56,780	53,281	106.6%
	1日平均	156.0	155.4	157.0	156.5	156.6	157.1	157.6	156.1	155.8	151.8	150.5	151.1	155.1	146.0	106.3%
	占床率	97.5%	97.1%	98.1%	97.8%	97.9%	98.2%	98.5%	97.6%	97.4%	94.9%	94.1%	94.5%	97.0%	94.4%	102.7%

## (2) 外来利用状況

外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	705	622	747	724	754	696	706	875	720	687	698	743	8,677	8,991	96.5%
耳鼻科	39	33	52	53	38	41	44	45	38	43	46	50	522	522	100.0%
リハビリテーション課	1,004	961	1,004	993	1,036	926	1,027	989	952	914	963	1,028	11,797	12,049	97.9%
整形外科	23	29	33	32	33	33	24	30	33	33	36	31	370	453	81.7%
皮膚科	11	10	8	10	7	9	7	8	8	8	9	8	103	102	101.0%
精神科	47	46	38	49	51	39	50	36	42	40	42	33	513	514	99.8%
歯科	180	194	181	166	208	195	163	201	191	202	179	195	2,255	2,228	101.2%
短期外来	398	412	404	402	431	408	413	409	408	304	290	300	4,579	4,177	109.6%
外来者総数	2,407	2,307	2,467	2,429	2,558	2,347	2,434	2,593	2,392	2,231	2,263	2,388	28,816	29,036	99.2%
1日平均	114.6	109.9	107.3	115.7	111.2	111.8	110.6	123.5	113.9	111.6	113.2	103.8	112.2	113.9	98.6%

## (3) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	2	2	2	2	2	2	5	7	6	4	6	5	45	42	107.1%
活動延べ回数	5	4	6	5	5	5	32	36	38	22	29	20	207	170	121.8%

裁縫ボランティアについては、ベッドや体位変換時のクッションのカバー等のサイズ確認やひと工夫が必要な依頼も増えているため、担当職員と相談しながら作業を進めた。また、一部来所の制限を行いながら開催した「とちのき祭」では、裁縫ボランティアの方々の作品をバザーに出品して、利用者との久しぶりの交流を楽しんだ。

中村特別支援学校の港南分教室と協働し、4月から月1回の定期訪問となった日本ホスピタルクラウン協会のホスピタルクラウンのパフォーマンスを鑑賞し、楽しい時間を過ごした。

共同企画している「クラシック・ヨコハマ」のイベントをホールで開催した。横浜市民広間演奏会の方々が2回の公演を行い、多くの利用者や家族が楽しんだ。



とちのき祭 バザー出品



裁縫ボランティアへの依頼品



クラシック・ヨコハマ



ホスピタルクラウン

(4) 公開講座  
とちのき講座

公開日	テーマ	講師	参加人数
2023/9/20	「親なき後のわが子の暮らし」	横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター 瀧澤 久美子 様	62名
2024/1/31	「障害のある方を守る制度等について考える～成年後見制度と周辺事業入門編～」	認定NPO法人 成年後見つばさ 齋藤 聡子 様	56名

障害児者の親であれば誰もが不安を感じる「親なき後」というテーマに沿って、第1回目は横浜市の障害福祉の歴史から現状までの概要的な内容、第2回目は成年後見制度を中心とした具体的な制度の話それぞれの分野で経験豊富な講師よりお話しいただいた。いずれの回も大変好評で引き続きの開催を求める声が多く聞かれた。

#### 4 各部署の報告

(1) 診療部門

2023年は4月に小児科医師1名を採用し、常勤医は内科系医師14名、耳鼻科医1名、歯科医師1名の体制となった。長期入所5棟及び短期入所の入所者の健康管理に各医師が尽力した。また、院内だけでなく、横浜市内の療育センターや県内の複数の支援学校での診療指導など、地域の障害児者医療に各人が大きく貢献した。

外来診療においては、非常勤医師の協力もあり昨年度と同等の実績を上げることができたが、新患の待機日数がまだ月単位であることが今後の課題である。外来のてんかん診療においては、フェンフルラミン等の新薬、難治てんかんに対する迷走神経刺激療法といった新たな治療の導入も行った。

学術面では小児神経学会総会や日本重心学会、日本てんかん学会等に多くの医局員が参加し、各学会で発表を行った。また医局では新たに毎月の勉強会を開始し、各医師が論文やガイドラインの解説などを行い、日々研鑽を積んだ。



(2) 診療支援部門

① リハビリテーション課

ア 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	540	490	543	527	562	501	520	513	509	465	524	538	6,232	5,945	104.8%
	作業療法	330	341	336	334	359	325	346	324	330	308	315	350	3,998	4,086	97.8%
	言語聴覚療法	243	238	238	248	272	207	243	255	261	228	227	257	2,917	3,300	88.4%
	臨床心理	141	125	149	150	170	142	162	146	141	125	142	156	1,749	1,565	111.8%
入所	理学療法	181	239	246	233	258	238	265	105	288	243	222	229	2,747	1,632	168.3%
	作業療法	81	56	56	76	111	80	99	106	95	64	101	88	1,013	530	191.1%
	言語聴覚療法	58	71	62	69	63	63	72	66	80	78	81	62	825	789	104.6%
	臨床心理	18	19	24	11	11	27	52	36	39	32	33	39	341	283	120.5%
合計	理学療法	721	729	789	760	820	739	785	618	797	708	746	767	8,979	7,126	126.0%
	作業療法	411	397	392	410	470	405	445	430	425	372	416	438	5,011	4,896	102.3%
	言語聴覚療法	301	309	300	317	335	270	315	321	341	306	308	319	3,742	4,189	89.3%
	臨床心理	159	144	173	161	181	169	214	182	180	157	175	195	2,090	1,905	109.7%
	総合計	1,592	1,579	1,654	1,648	1,806	1,583	1,759	1,551	1,743	1,543	1,645	1,719	19,822	18,116	109.4%
	1日平均件数	79.3	79.0	75.2	82.4	90.2	79.2	80.0	73.9	83.0	77.2	82.3	86.0	80.6	73.0	110.4%

イ 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	9	11	13	6	8	9	8	5	7	6	10	8	100	100	100.0%
作業療法	11	8	13	11	10	7	7	5	5	9	4	8	98	109	89.9%
言語聴覚療法	6	12	8	9	9	6	7	7	9	10	5	15	103	101	102.0%
臨床心理	8	4	9	13	7	5	9	6	4	10	5	4	84	100	84.0%
合計	34	35	43	39	34	27	31	23	25	35	24	35	385	410	93.9%

ウ 職員の派遣

訪問の家 朋 : 月 2 回/ 半日

地域活動ホーム かがやき : 月 1 回/ 半日

エ 職員数 リハ部門定数 27 名

理学療法士 11 名 非常勤 2 名

作業療法士 常勤 11 名、非常勤 2 名

言語聴覚士 常勤 4 名 限定 1 名 横療より応援 1 名

臨床心理士 常勤 4 名

オ 実習生対応

PT 見学実習 (1 週間) 1 名 臨床実習 (8 週間) 1 名

OT 評価実習 (3 週間) 1 名



入院・入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	330	252	311	209	244	212	270	294	197	206	210	274	3,009	3,011	99.9%
	処方件数	1,157	690	951	667	744	548	855	1,144	393	817	712	1,487	10,165	9,620	105.7%
	調剤数	1,633	955	1,319	926	988	739	1,156	1,586	478	1,122	945	1,609	13,456	14,093	95.5%
2E棟	処方箋枚数	270	399	389	306	305	305	320	535	223	313	380	375	4,120	4,300	95.8%
	処方件数	518	1,409	1,351	948	958	971	762	2,046	396	1,092	1,482	1,365	13,298	13,095	101.6%
	調剤数	704	1,988	1,783	1,333	1,288	1,376	983	2,689	488	1,409	1,953	1,774	17,768	17,768	100.0%
2W棟	処方箋枚数	402	233	346	336	209	233	468	257	300	423	158	389	3,754	3,762	99.8%
	処方件数	1,733	868	1,452	1,348	537	803	1,977	655	860	2,076	268	1,917	14,494	13,279	109.1%
	調剤数	2,379	1,129	1,981	1,842	661	1,066	2,653	792	1,080	2,707	318	2,504	19,112	18,678	102.3%
3E棟	処方箋枚数	314	303	192	378	301	167	379	361	230	315	396	317	3,653	3,352	109.0%
	処方件数	995	1,028	556	1,400	965	442	1,384	1,241	396	1,129	1,433	1,059	12,028	11,421	105.3%
	調剤数	1,377	1,426	765	1,953	1,307	590	1,878	1,712	478	1,556	1,900	1,447	16,389	16,452	99.6%
3W棟	処方箋枚数	198	310	362	292	283	165	267	375	229	238	306	289	3,314	2,728	
	処方件数	545	1,167	1,129	949	959	384	882	1,445	505	845	1,204	1,104	11,118	8,851	
	調剤数	696	1,622	1,523	1,296	1,234	493	1,165	1,885	657	1,080	1,539	1,374	14,564	12,231	

イ 注射院内処方

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	43	60	80	46	76	98	112	12	25	81	40	15	688	756	91.0%
	処方件数	102	121	118	107	161	202	223	31	68	151	89	28	1,401	1,666	84.1%
	調剤数	153	163	145	162	236	234	300	46	102	207	124	42	1,914	2,318	82.6%
2E棟	処方箋枚数	231	128	30	24	68	71	118	81	81	58	47	47	984	1,103	89.2%
	処方件数	630	337	84	45	140	168	257	151	135	128	118	114	2,307	3,262	70.7%
	調剤数	948	485	136	60	214	253	373	208	174	179	180	147	3,357	5,577	60.2%
2W棟	処方箋枚数	186	33	18	40	39	34	76	67	90	45	30	41	699	873	80.1%
	処方件数	459	89	50	85	95	91	166	127	166	99	63	111	1,601	2,331	68.7%
	調剤数	697	139	71	120	144	116	236	167	204	142	94	135	2,265	3,381	67.0%
3E棟	処方箋枚数	91	92	67	69	90	71	127	101	113	56	45	80	1,002	963	104.0%
	処方件数	211	219	160	193	299	280	400	284	330	209	136	236	2,957	2,385	124.0%
	調剤数	265	296	193	252	409	373	535	327	361	231	137	278	3,657	3,036	120.5%
3W棟	処方箋枚数	43	88	96	67	58	49	66	47	88	33	57	26	718	643	
	処方件数	78	232	229	173	92	103	122	94	183	61	84	71	1,522	1461	
	調剤数	114	351	328	265	121	147	176	127	259	87	115	103	2,193	2012	

職員体制は、薬剤師 5 名（常勤 4 名 非常勤 1 名）、薬剤事務員 1 名（限定常勤 1 名）で調剤業務を行っている。

③ 検査課

ア 院内検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	3	6	9	7	4	6	4	5	9	6	5	12	76	65	116.9%
血算	49	43	53	41	37	37	37	37	42	30	31	46	483	465	103.9%
電解質	37	40	43	32	34	34	33	37	37	23	28	42	420	745	56.4%
血中薬物濃度	17	23	29	22	26	19	17	24	30	12	12	25	256	270	94.8%
血液ガス分析	5	4	10	10	8	3	5	6	7	6	3	11	78	33	236.4%
尿定性	22	24	26	15	22	21	18	19	16	11	11	24	229	229	100.0%
尿沈渣	19	19	23	10	20	18	17	18	15	8	9	21	197	202	97.5%
迅速検査	1	3	7	9	5	5	0	3	9	3	4	1	50	35	142.9%
新型コロナウイルス抗原	1	3	2	3	2	3	0	0	7	2	3	1	27	32	84.4%
新型コロナウイルス核酸	56	56	57	57	61	60	63	1	20	36	37	41	545	577	94.5%
肝炎ウイルス検査	0	0	0	0	3	0	0	0	2	1	0	0	6	30	20.0%
心電図	7	7	5	1	3	3	3	0	2	1	5	4	41	37	110.8%
心電図+CVRR	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	2	100.0%
脳波	10	10	7	14	8	4	8	6	6	5	7	13	98	87	112.6%
聴力検査	1	1	1	1	2	1	1	1	0	1	0	1	11	12	91.7%
超音波検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	228	239	272	222	235	214	206	158	202	145	155	243	2,519	2,821	89.3%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	162	120	76	82	115	101	108	74	102	87	78	62	1,167	1,155	101.0%
血算	163	121	76	88	124	109	111	79	109	99	83	67	1,229	1,211	101.5%
電解質	106	95	66	69	98	79	80	59	77	76	62	55	922	977	94.4%
血中薬物濃度	23	22	17	23	39	17	18	23	14	22	21	20	259	330	78.5%
血液ガス分析	131	77	48	57	86	81	87	49	61	60	58	43	838	857	97.8%
尿定性	58	35	22	37	57	38	42	43	41	39	33	23	468	498	94.0%
尿沈渣	51	27	19	31	48	27	37	35	40	29	26	22	392	410	95.6%
迅速検査	84	49	46	43	38	30	63	39	59	56	43	31	581	373	155.8%
新型コロナウイルス抗原	49	30	25	26	24	19	35	18	30	2	22	16	296	322	91.9%
新型コロナウイルス核酸	6	18	10	14	25	31	16	9	25	36	9	8	207	217	95.4%
肝炎ウイルス検査	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	18	16.7%
心電図	1	1	2	10	16	15	8	11	10	11	8	2	95	108	88.0%
心電図+CVRR	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3	4	75.0%
脳波	2	2	3	0	6	1	1	4	1	2	2	1	25	21	119.0%
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
超音波検査	7	7	3	2	3	5	6	2	3	5	2	5	50	52	96.2%
乳がん検診超音波検査	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	28	27	103.7%
合計	843	604	413	482	682	553	641	445	572	524	447	357	6,563	6,580	99.7%

## イ 外注検査

### 外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	859	781	948	709	706	663	652	713	716	458	502	781	8,488	8,288	102.4%
細菌培養	1	1	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	7	6	116.7%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新型コロナウイルスPCR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	286	0.0%
合計	860	782	950	709	706	665	652	713	716	459	502	781	8,495	8,580	99.0%

### 入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	1345	1303	1003	1128	1612	1407	1338	1193	1219	1296	965	886	14,695	14,240	103.2%
細菌培養	129	87	47	71	77	61	97	102	60	58	43	49	881	714	123.4%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新型コロナウイルスPCR	0	0	0	0	29	27	0	0	28	0	0	0	84	224	37.5%
合計	1,474	1,390	1,050	1,199	1,718	1,495	1,435	1,295	1,307	1,354	1,008	935	15,660	15,178	103.2%

新型コロナウイルス感染症の市中感染は減少し、また5類移行後については、外注PCR検査の依頼件数は大幅に減少した。一方、有症状者対応と短期入所前検査のため、院内検査の前述抗原検査および核酸検査依頼は比較的減少せず、同時に他の感染症迅速検査の依頼は著明に増加した。

## ④ 放射線課

### 外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CT	0	1	0	0	0	2	1	3	0	7	2	6	22	21	104.8%
一般撮影	51	43	53	53	57	43	42	41	39	42	43	44	551	541	101.8%
ポータブル撮影	4	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	2	10	6	166.7%
透視検査	1	0	3	0	2	1	1	3	1	1	1	1	15	12	125.0%
超音波検査(BTX)	31	26	27	28	28	23	26	25	31	26	33	29	333	354	94.1%
画像ファイル	16	11	9	12	10	8	3	7	10	13	4	18	121	143	84.6%
歯科デンタル	3	3	5	0	4	6	4	4	2	2	4	3	40	51	78.4%
合計	106	84	98	93	102	84	78	83	83	91	87	103	1,092	1,128	96.8%

### 入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CT	18	22	10	22	23	31	11	13	14	14	19	7	204	177	115.3%
一般撮影	14	15	13	45	53	32	31	30	33	36	19	23	344	304	113.2%
ポータブル撮影	118	66	61	54	47	58	67	64	54	53	45	55	742	732	101.4%
透視検査	7	6	6	4	5	4	6	13	8	3	7	7	76	100	76.0%
超音波検査(BTX)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
画像ファイル	3	11	9	9	6	6	13	11	4	7	11	6	96	59	162.7%
歯科デンタル	2	3	1	0	2	0	1	3	5	2	4	0	23	13	176.9%
合計	162	123	100	134	136	131	129	134	118	115	105	98	1,485	1,385	107.2%

入所者の透視撮影は、内視鏡に移行しているため減少した。

⑤ 栄養課

ア 入所食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	4,121	4,153	3,894	4,185	4,157	4,097	3,909	3,914	4,024	3,944	3,664	3,975	48,037	49,089	97.86%
胃瘻食朝	1,311	1,363	1,319	1,340	1,299	1,283	1,332	1,260	1,326	1,325	1,272	1,358	15,788	14,923	105.80%
胃瘻食昼	1,861	1,833	1,830	1,849	1,898	1,874	1,964	1,840	1,913	1,857	1,716	1,857	22,292	20,296	109.83%
胃瘻食夕	1,546	1,618	1,620	1,657	1,638	1,612	1,692	1,589	1,659	1,605	1,492	1,621	19,349	18,390	105.21%
経管栄養食	15,558	16,124	16,265	16,643	16,940	16,412	17,123	16,690	17,152	16,785	15,513	16,602	197,807	170,990	115.68%
日中一時支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
嚥下外来食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	24,397	25,091	24,928	25,674	25,932	25,278	26,020	25,293	26,074	25,516	23,657	25,413	303,273	273,689	110.81%

イ 栄養指導

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
肥満	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	33.33%
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
低栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摂食嚥下障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	50.00%
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3	4	75.00%
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

2024年1月から短期入所の受け入れ人数の変更があったため、減少した。

(3) 居住支援部門

① 長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規入所受入れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0.0%
1E棟	480	482	479	465	487	479	496	479	496	494	450	496	5,783	6,204	93.2%
2E棟	932	972	960	988	963	960	992	944	969	968	899	958	11,505	11,280	102.0%
2W棟	959	978	947	988	992	953	982	923	955	955	896	955	11,483	11,321	101.4%
3E棟	950	983	959	990	991	959	992	960	992	992	920	992	11,680	11,197	104.3%
3W棟	959	991	960	992	985	945	992	959	992	989	908	987	11,659	9,106	
小計	4,280	4,406	4,305	4,423	4,418	4,296	4,454	4,265	4,404	4,398	4,073	4,388	52,110	49,108	106.1%
1日平均(日/床)	142.7	142.1	143.5	142.7	142.5	143.2	143.7	142.2	142.1	141.9	140.4	141.5	142.4	134.5	105.8%

満床から開始した2023年度であったが、10月に1名(2W)、2月に1名(2E)の逝去に伴い、合計2床が空床となった。しかしながら、6月から徐々に3W棟の受け入れを開始した昨年度と比べ、年度当初から多くの入所者を受け入れた結果、占床率は全体で約6%上昇した。

② 日中活動

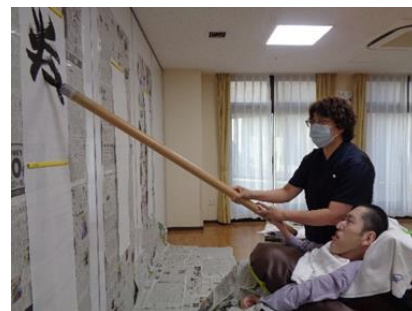
(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数(回)	24	34	37	34	37	37	37	36	36	35	36	34	417	344	121.2%
参加人数(人) 延べ	122	160	189	179	185	202	193	190	184	185	184	175	2,148	1,671	128.5%

月に1~2回のペースで参加し、継続的な活動と新しい内容で活動計画を行なった。日中活動の理念でもある「日常生活から離れた場所での社会参加」として、棟とは違う意思表示や表情変化が見られた。利用者の体調変化、姿勢等については、適宜棟職員と相談しながら行なった。今年度は8名の学生が実習参加した(高2、1名含む)。また、夏休みには利用者が自由に使ってもらえる様な準備をして、活動室を開放するプログラムも実施した。

【活動内容】

外気浴、散歩、スノーズレン、ミュージックケア、ボーリング、創作(押し花)、ボッチャ、シアター、クイズゲーム、読み聞かせ、Wii、ポプリ、リフレクソロジー、感覚あそび、装飾(クイリング)、花梨茶作り、クリスマスプログラム など  
夏休み特別プログラム(8/3~8/17) 全棟対象：日中活動室開放(内容：前半スノーズレン、後半エアトランポリン)



(4) 在宅支援部門

① 短期・入院利用等実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
短期入所(延数)	1E棟	398	412	382	429	437	418	430	419	425	307	292	297	4,646	4,140	112.2%
	2E棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2W棟	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	8	25.0%
	3E棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.0%
	3W棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	398	412	382	429	437	418	432	419	425	307	292	297	4,648	4,152	111.9%
1日平均(日/床)	13.3	13.3	12.7	13.8	14.1	13.9	13.9	14.0	13.7	9.9	10.1	9.6	12.7	11.4	111.2%	
申し込み(件数)	70	73	67	71	75	80	81	73	75	55	74	86	880	639	137.7%	
利用不可(件数)※	19	16	12	12	13	18	18	14	14	16	35	45	232	70	331.4%	
入院 1E棟のみ	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	10	220.0%	

※満床等の理由により入所対応ができなかった件数

利用者は漸増し、今年度末時点で登録者は320名を超えた。それに伴い月々の利用申込数も増加し、1か月の平均利用申込み件数は73.3件で前年度の53.8件を大きく上回った。

一方で、1月より人員不足のために稼働床数を減少させた影響により、利用実績は微増に留まった。

## ② 医療福祉相談室

### 相談調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
受診相談	132	154	183	158	134	109	227	143	135	171	172	164	1,882	1,192	157.9%
関係機関調整	151	187	291	208	257	188	223	168	234	215	214	185	2,521	1,839	137.1%
一般相談（※二次相談含む）	322	271	398	371	371	365	367	255	285	311	290	341	3,947	1,283	307.6%
短期入所・相談調整	370	436	495	450	491	433	453	384	517	427	374	394	5,224	3,401	153.6%
計画相談支援・相談調整	53	77	71	79	85	106	102	116	119	150	109	118	1,185	688	172.2%
合計	1,028	1,125	1,438	1,266	1,338	1,201	1,372	1,066	1,290	1,274	1,159	1,202	14,759	8,403	175.6%

### 計画相談支援業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
立案数	4	2	2	1	2	1	1	0	3	4	5	2	27	50	54.0%
モニタリング数	5	11	8	9	11	13	9	16	8	5	10	9	114	86	132.6%
合計	9	13	10	10	13	14	10	16	11	9	15	11	141	136	103.7%

一般相談は、発達障害関連で他支援機関との連携が必要なケースが大きく増加した。そのため訪問や外部機関主催の会議等に参加する機会が増え、1ケースにかかる相談員の業務量増加が課題である。計画相談は、長期入所者で他事業所が担当している利用者の引継ぎ依頼が複数件あり、対象者が微増した。

## (5) 安全管理部門

### インシデント・アクシデント件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
レベル	0	9	5	6	9	4	0	6	6	9	7	6	4	71	76	93.4%
	1	36	33	31	25	34	17	29	26	31	13	27	26	328	274	119.7%
	2	22	14	13	10	16	12	15	9	21	12	15	13	172	182	94.5%
	3-a	9	5	3	12	4	4	6	7	5	10	6	4	75	68	110.3%
	3-b	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	5	2	250.0%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0.0%

3-b 事例 前期 右手第5指基節骨骨折 左第5足趾基節骨骨折 右小指末節骨の剥離骨折  
後期 左第1趾から4趾骨折 左大腿骨骨幹部骨折 5事例 短期入所中の医療事故死



(6) 管理部門

管理課

職員採用状況（非常勤職員は除く。）

職種	医師	看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護助手	生活支援員	福祉相談員	事務クラーク	事務員	合計
採用者	1	14	4	1	1	5	4	1	1	0	32
退職者	1	14	4	0	0	0	8	1	0	2	30

生活支援員の採用はしているが、退職者が上回る状況となった。

### Ⅲ 横浜療育医療センター運営事業

全体目標として、「長期利用者の彩りある生活と在宅利用者へのきめ細やかな支援、ならびに職員満足度の向上を目標に事業の安定的運用を目指す」を掲げたが、職員、特に看護師、生活支援員の大幅な欠員を年度中に補充できず、利用者への十分な支援体制がとれない一年となった。以下、各事業について報告する。

療養介護事業については、入所者の高齢化に伴う悪性腫瘍の増加もあり、5名の方が逝去されたが、それぞれ適切なアドバンス・ケア・プランニングの立案、実行を経て見送ることができた。日中活動については、新型コロナウイルス感染症対策の影響がまだ残っていた2022年度に引き続き、充実した活動を行うことができた。

在宅支援事業については、2023年度にC棟に集約した短期入所は、職員の欠員により必要な人員配置体制を組むことができず、受入人数を半分程度に縮小せざるを得なかったため、利用者にも不便をかけることとなった。生活介護では、重症化に伴い、健全な運営が困難になっている現状を具体的なデータにより示し、「利用者の医療必要度評価の見直しとそれに見合う報酬設定」、「欠席率の高さをカバーできる報酬と体制確保」、「送迎事業の見直し」の3つを課題として挙げ、横浜市の施策に対する要望として健康福祉局障害施設サービス課に提出した。また、訪問介護（まいはと）は年度当初から職員不足のため業務を縮小したが、訪問看護（えーる）も人員不足が生じて年度途中から縮小を強いられた。

これらは、いずれも職員定数の10%近い欠員による事業縮小であり、職員確保は喫緊の課題として捉え、これまでの求人活動に加えて全国各地の就職説明会への参加、新たな仕組みを持つ紹介会社との契約、魅力的なホームページの作成などの策を打ったが、まだその効果は現れておらず、来年度も継続予定である。一方、職員の離職防止に繋がる取り組みでもあるウェルビーイングプロジェクトは、一般有志職員の熱意により少しずつその意識が拡がっており、次年度に繋げていきたい。

また、新型コロナウイルス感染症に対する国の予防管理体制は緩和されたが、利用者や職員の発症は一定数あったため、その都度必要な対策を行って感染拡大を防いだ。感染対策も含めて大規模災害時の事業継続計画（BCP）のブラッシュアップを今年度も続け、大規模訓練を2回実施した。引き続き細部の改良を継続する。

開設35周年記念事業として職員募集したマスコットキャラクターは“ほのぼー”に決定し、今後、当センターのシンボルとしての活躍を期待している。

総括としては、2022年度同様に職員の大幅な欠員が業務の縮小と職員への過大な負担をもたらした一年であったが、本年度に手を付けた様々な改革の仕組みが来年度以降に成果を上げることが期待したい。

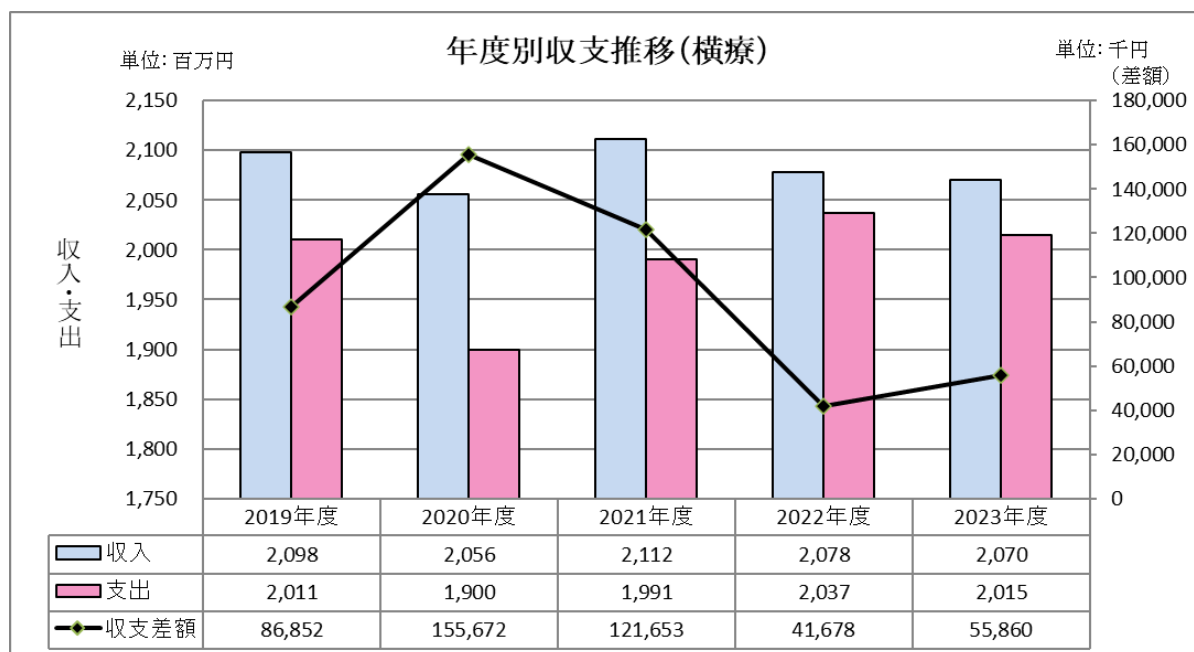
## 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	93 名/日	93.7 名/日	100.8%
短期入所	8 名/日	7.3 名/日	91.3%
外来診療	89 名/日	83.3 名/日	93.6%
(短期入所外来を含む)	(98 名/日)	(90.4 名/日)	92.2%
生活介護(通所)	18 名/日	14.4 名/日	80.0%
訪問看護ステーションえーる	180 件/月	195 名/月	108.3%
放課後等デイサービスはみんぐ	4.9 名/日	4.5 名/日	91.8%
ヘルパーステーションまいはーと	285 件/月	258 件/月	90.5%
保育室ひかり	※17 名/月	15 名/日	88.2%
病児保育室あさひ	2.1 名/日	2.4 名/日	114.3%

※毎月の契約数

## 2 資金収支差額の推移

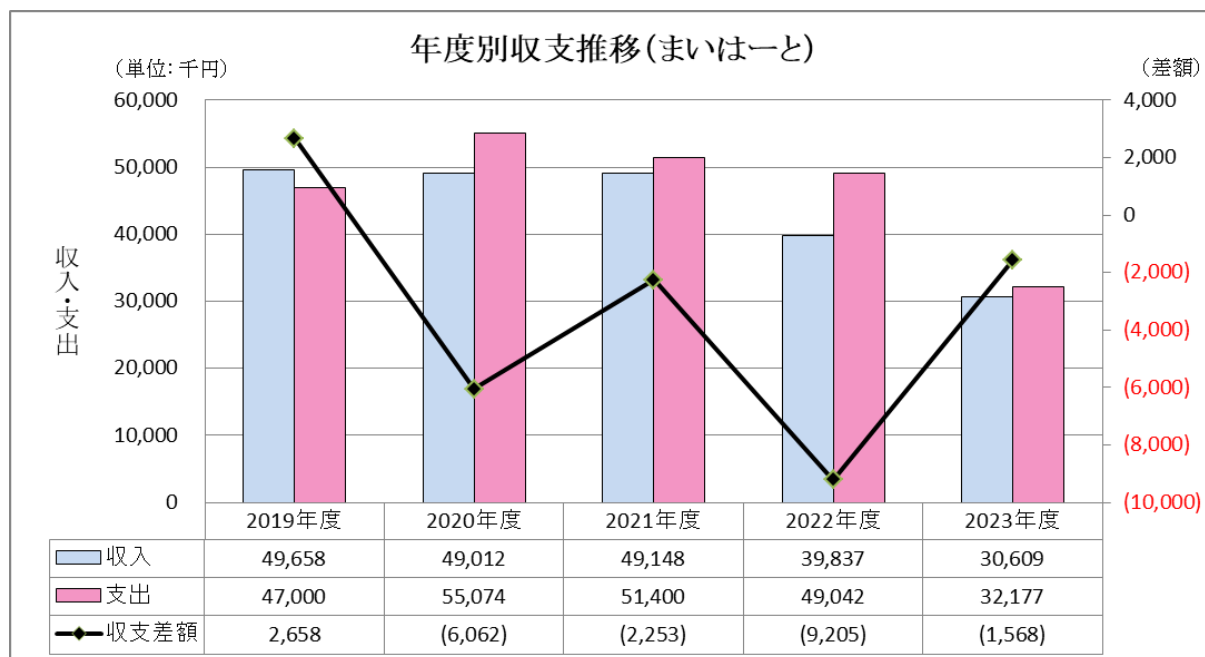
### (1) 横浜療育医療センター



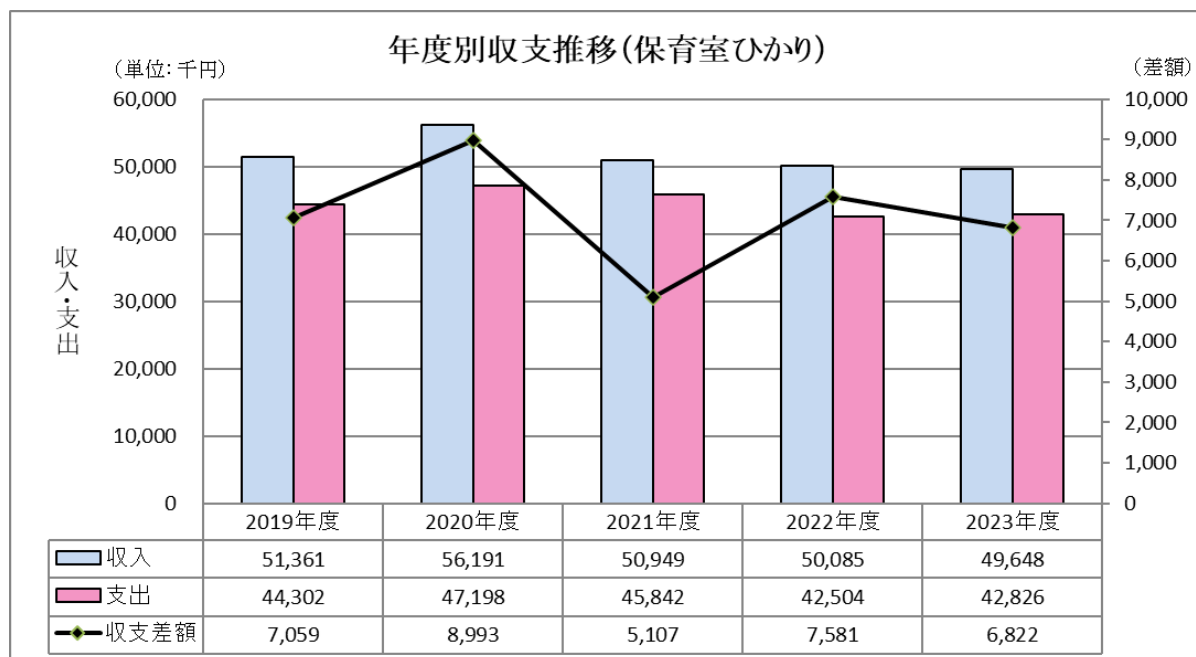
2023年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、長期入所を86床から95床に変更したことにより、療養介護分の収入・補助金収入、入院診療収入が安定した。生活介護事業は、医療度が高い利用者を受けていることから体調不良による欠席が多く、予算比20%程度の減収となったため、生活介護事業の現状と課題について、横浜市との協議を開始した。

年間を通し欠員が続いたことにより、人件費が予算比マイナスとなり、収支差額は予算を大きく上回る結果となった。

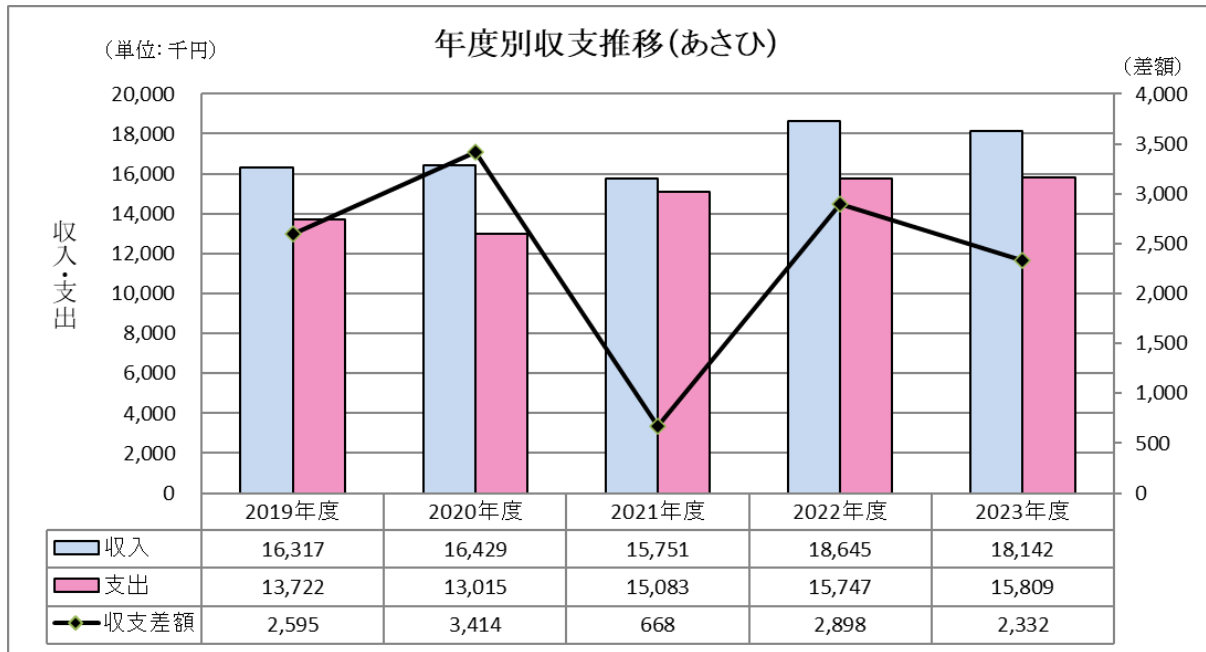
(2) ヘルパーステーションまいはーと



(3) 保育室ひかり



(4) 病児保育室あさひ



3 センター全体の実績

(1) 長期・短期入所利用状況

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期 95床	定数	2,850	2,945	2,850	2,945	2,945	2,850	2,945	2,850	2,945	2,945	2,755	2,945	34,770	32,723	106.3%
	実績数	2,829	2,883	2,790	2,896	2,944	2,845	2,936	2,827	2,887	2,863	2,667	2,839	34,206	32,586	105.0%
	1日の平均	94.3	93.0	93.0	93.4	95.0	94.8	94.7	94.2	93.1	92.4	95.3	91.6	93.7	89.3	105.0%
	占床率	99.3%	97.9%	97.9%	98.3%	100.0%	99.8%	99.7%	99.2%	98.0%	97.2%	96.8%	96.4%	98.4%	99.6%	98.7%
短期 9床	定数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	261	279	3,294	4,749	69.4%
	実績数	144	193	212	206	238	182	244	239	257	262	264	214	2,655	3,645	72.8%
	1日の平均	4.8	6.2	7.1	6.6	7.7	6.1	7.9	8.0	8.3	8.5	9.4	6.9	7.3	10.0	73.0%
	占床率	53.3%	69.2%	78.5%	73.8%	85.3%	67.4%	87.5%	88.5%	92.1%	93.9%	101.1%	76.7%	80.6%	74.5%	108.2%
入院 1床	定数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	4,749	7.7%
	実績数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,645	0.0%
	1日の平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0%
	占床率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	74.5%	0.0%
合計 105床	定数	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	3,045	3,255	38,430	38,325	100.3%
	実績数	2,973	3,076	3,002	3,102	3,182	3,027	3,180	3,066	3,144	3,125	2,931	3,053	36,861	36,231	101.7%
	1日の平均	99.1	99.2	100.1	100.1	102.6	100.9	102.6	102.2	101.4	100.8	101.1	98.5	100.7	99.3	101.5%
	占床率	94.4%	94.5%	95.3%	95.3%	97.8%	96.1%	97.7%	97.3%	96.6%	96.0%	96.3%	93.8%	95.9%	94.5%	101.5%

## (2) 外来利用状況

外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	593	594	653	588	612	627	627	610	632	585	564	649	7,334	7,716	95.0%
耳鼻科	33	26	29	31	26	24	28	16	22	24	19	26	304	362	84.0%
リハビリテーション課	759	781	819	824	746	699	780	795	758	706	659	764	9,090	9,385	96.9%
整形外科	23	19	21	29	34	30	30	20	37	26	34	26	329	256	128.5%
皮膚科	3	3	3	6	5	4	3	6	2	4	0	6	45	74	60.8%
精神科	22	16	24	24	11	28	15	27	24	31	18	31	271	249	108.8%
歯科	139	165	205	193	152	126	141	172	181	151	152	158	1,935	2,073	93.3%
短期外来	144	193	207	203	236	182	241	215	256	259	258	213	2,607	3,627	71.9%
放デイ外来	77	77	85	80	90	85	83	84	67	67	59	76	930	862	107.9%
外来者総数	1,793	1,874	2,046	1,978	1,912	1,805	1,948	1,945	1,979	1,853	1,763	1,949	22,845	24,601	92.9%
1日平均(短期除く)	82.5	84.1	83.6	88.8	76.2	81.2	81.1	86.5	86.2	83.9	79.2	86.8	83.3	86.4	96.5%
1日平均	87.3	90.3	90.5	95.3	83.8	87.2	88.9	93.7	94.4	92.2	88.1	93.7	90.4	96.3	93.9%

## (3) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動回数	15	12	19	37	33	25	38	30	42	31	31	25	338	165	204.8%
活動延べ回数	26	18	28	45	44	34	56	35	61	34	41	39	461	292	157.9%

【主な活動内容】理美容、ピアノ演奏、エレクトーン演奏、生け花、リネン交換、絵本読み聞かせ、裁縫、施設内植栽管理

## 4 各部署の報告

### (1) 診療部門

#### ① 外来診療

新型コロナウイルス感染症による影響は前年度よりさらに少なくなり、感染に伴うキャンセル数は減少した。児童精神科及び整形外科については、前年度以上の利用者数であった。また、発達障害児者については、利用者数も多く、リハビリ及び児童精神科、相談室及び地域療育センターとの連携も構築され、地域において重要な役割を果たしている。内科及び小児科については、近隣施設からのリハビリ移行ケースが多かった。通院中の外来利用者については、入院対応が困難であったため、在宅往診医導入や急性期対応病院の受診を勧めるケースも増えた。当施設の外来については、重症心身障害者医療における役割も変化せざるを得ない状況となった。

## ② 入所・入院・通所

長期入所では、新型コロナウイルス感染症の散発がみられ、1名がハイフローセラピーを要したが、後遺症なく回復した。高齢者ほど呼吸状態は悪化しやすく、今後も感染対策の継続が必要であると考え。2023年度は5名の方が逝去され、そのうち50代の2名は大腸がんであった。他の利用者においても、他部位の悪性腫瘍発症も含めて多発しているため、この要因の検討は今後必要である。また男性利用者における泌尿器系のトラブルも複数あり、非常勤医師の往診や他院受診を余儀なくされた。現状からは具体的なACPが早急に必要となり、多職種が協同した個々の利用者への対応の経験を蓄積している。

短期入所については、原則C棟のみで対応した。職員の欠員が続き、安全に利用してもらうため、2023年3月より4床/日を受け入れる状況が続いた。短期入所利用の要望は強く、今後も職員確保及び維持により、受け入れ人数の増員を実現していく。

通所は新規利用3名のうち5月に1名が逝去された。数年来問題となっていた利用者全体の重症化により、当センターの生活介護事業存続において、欠席数の増加が看過できない状況となった。10月には、横浜市健康福祉局に対して現状を説明し、市内8事業所のアンケート結果報告及び重症児スコアによる医療ケア評価の見直しや送迎及び欠席に対する加算の提案を行い、次年度以降の施策への反映を要望した。

## (2) 診療支援部門

### ① リハビリテーション課

#### ア 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	550	550	569	587	500	542	570	550	563	532	512	535	6,560	6,515	100.7%
	作業療法	286	281	298	308	287	264	204	297	302	262	297	287	3,373	3,638	92.7%
	言語聴覚療法	272	266	293	299	303	258	293	250	283	243	234	283	3,277	3,769	86.9%
	臨床心理	55	75	75	93	88	104	82	83	92	93	89	102	1,031	930	110.9%
	音楽療法	4	7	6	6	4	7	4	5	6	5	3	8	65	71	91.5%
入所	理学療法	157	152	227	198	203	196	204	161	131	123	124	118	1,994	1,847	108.0%
	作業療法	41	33	54	31	34	35	37	25	34	28	26	17	395	307	128.7%
	言語聴覚療法	49	33	24	48	31	34	44	41	41	42	51	38	476	480	99.2%
	臨床心理	23	11	41	32	6	21	29	31	21	18	19	21	273	193	141.5%
	音楽療法	11	11	11	10	11	18	9	4	11	10	0	13	119	123	96.7%
合計	理学療法	707	702	796	785	703	738	774	711	694	655	636	653	8,554	8,362	102.3%
	作業療法	327	314	352	339	321	299	241	322	336	290	323	304	3,768	3,945	95.5%
	言語聴覚療法	321	299	317	347	334	292	337	291	324	285	285	321	3,753	4,249	88.3%
	臨床心理	78	86	116	125	94	125	111	114	113	111	108	123	1,304	1,029	126.7%
	音楽療法	15	18	17	16	15	25	13	9	17	15	3	21	184	194	94.8%
	総合計	1,448	1,419	1,598	1,612	1,467	1,479	1,476	1,447	1,484	1,356	1,355	1,422	17,563	17,843	98.4%
1日平均件数	72.4	71.0	72.6	80.6	66.7	73.9	69.7	71.9	73.4	70.6	71.2	70.1	72.0	72.9	98.8%	

イ 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	3	7	7	4	7	3	7	7	6	5	4	6	66	58	113.8%
作業療法	5	6	8	6	1	3	2	3	5	5	1	3	48	85	56.5%
言語聴覚療法	4	5	7	3	1	4	4	4	4	6	11	1	54	69	78.3%
臨床心理	7	3	12	9	6	12	1	5	6	13	8	8	90	95	94.7%
音楽療法	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	25.0%
合計	19	22	34	22	15	22	14	19	21	29	24	18	259	311	83.3%

今年度の人員配置は、OTが常勤1名欠員、PT育休5ヶ月取得者1名、ST療養休暇8週後、仕事量調整必要者1名であった。STの件数が大きく昨年を下回った原因は職員1名業務量調整したことと、1名港南への業務応援に月2回出たことが理由として考えられる。また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染は引き続き通年流行しており、外来患者のキャンセルに加え、職員自身や家族の感染による急なキャンセルも多い時期も続いた。これらの影響があり全体を通して100%を割る結果もあった。心理は常勤2名、限定常勤1名の体制になり、あおばへの心理応援業務は継続したものの、人数が増えたことにより件数を増やすことができた。新患数について、PTは増加した。また、OT・STは昨年を下回った。今後は、新患を増やしていく取り組みの検討が必要と考える。

② 薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科	処方箋枚数	5	6	12	9	14	11	11	8	32	18	15	15	156	92	169.6%
	処方件数	7	11	18	18	26	21	20	8	64	29	24	26	272	148	183.8%
	調剤数	7	12	19	19	27	21	21	8	69	31	26	28	288	165	174.5%
耳鼻咽喉科	処方箋枚数	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	4	1	400.0%
	処方件数	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	5	1	500.0%
	調剤数	4	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1	9	1	900.0%
歯科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
救急外来	処方箋枚数	1	2	10	5	6	9	9	4	9	7	7	3	72	36	200.0%
	処方件数	4	4	22	9	14	20	16	7	14	18	20	4	152	53	286.8%
	調剤数	4	4	23	9	17	22	20	7	14	20	25	4	169	59	286.4%
整形外科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
皮膚科	処方箋枚数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	5	40.0%
	処方件数	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3	6	50.0%
	調剤数	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3	6	50.0%
通所	処方箋枚数	6	2	6	5	2	3	3	11	7	2	3	3	53	73	72.6%
	処方件数	8	2	6	5	2	3	3	12	9	3	3	4	60	83	72.3%
	調剤数	8	3	6	5	3	4	3	12	10	3	3	4	64	86	74.4%



入院・入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟	処方箋枚数	274	251	166	358	306	335	290	290	231	264	225	280	3,270	3,237	101.0%
	処方件数	1,233	1,117	504	2,064	1,264	1,799	1,038	1,433	822	1,328	1,008	1,275	14,885	14,674	101.4%
	調剤数	1,590	1,448	639	2,725	1,744	2,444	1,400	1,968	1,094	1,818	1,323	1,717	19,910	19,406	102.6%
B棟	処方箋枚数	328	167	251	396	290	218	272	264	158	367	216	264	3,191	2,806	113.7%
	処方件数	1,384	303	1,015	2,000	1,153	868	1,029	1,234	383	1,743	831	1,007	12,950	11,761	110.1%
	調剤数	1,757	364	1,272	2,609	1,532	1,205	1,367	1,596	519	2,338	1,109	1,334	17,002	15,678	108.4%
C棟	処方箋枚数	387	389	439	458	449	441	390	425	479	400	346	365	4,968	4,814	103.2%
	処方件数	1,396	1,891	2,040	2,071	2,054	2,186	1,415	1,921	1,995	1,773	1,639	1,574	21,955	22,740	96.5%
	調剤数	1,869	2,292	2,520	2,618	2,662	2,812	1,846	2,460	2,571	2,280	2,139	2,006	28,075	28,308	99.2%

イ 注射院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	処方箋枚数	8	56	61	38	25	30	278	289	104	7	13	25	934	1,296	72.1%
	処方件数	8	56	61	38	25	31	278	289	104	7	13	25	935	1,296	72.1%
	調剤数	8	58	66	39	29	32	279	289	107	7	13	27	954	1,355	70.4%

入所・入院

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟	処方箋枚数	47	87	75	35	80	195	215	174	104	87	64	40	1,203	940	128.0%
	処方件数	84	160	131	39	119	356	393	351	243	219	112	54	2,261	1,501	150.6%
	調剤数	114	224	196	54	158	497	553	502	332	281	148	66	3,125	1,880	166.2%
B棟	処方箋枚数	19	30	42	13	53	0	124	68	70	150	60	98	727	895	81.2%
	処方件数	34	30	60	19	108	0	207	78	136	172	82	184	1,110	1,341	82.8%
	調剤数	55	30	81	29	166	0	301	91	153	210	96	259	1,471	1,811	81.2%
C棟	処方箋枚数	84	97	45	99	251	244	156	210	339	192	116	73	1,906	2,136	89.2%
	処方件数	163	135	79	179	418	415	247	332	640	345	220	139	3,312	3,564	92.9%
	調剤数	241	182	115	252	633	611	343	479	845	455	321	190	4,667	4,948	94.3%

今年度は新型コロナウイルスワクチン、インフルエンザワクチンの土日の集団接種がなかったため、注射処方箋枚数が減少した。また、医薬品の製造・供給停止や出荷調整が相次いでおり、医薬品確保のため薬剤課内の在庫量が増加した。

③ 検査課

ア 院内検査

外来・短期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	30	39	54	53	23	28	28	23	20	36	26	17	377	383	98.4%
血算	36	44	63	85	56	46	37	36	25	38	55	37	558	577	96.7%
血液像鏡検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
電解質	57	41	47	46	22	22	30	20	19	25	17	14	360	323	111.5%
迅速血糖(課内のみ)	0	5	2	4	0	0	3	2	3	0	2	2	23	22	104.5%
血中薬物濃度	15	25	19	6									65	245	26.5%
血液ガス分析	8	16	22	15	7	6	7	8	4	9	7	2	111	85	130.6%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
尿定性	16	25	27	51	33	25	14	11	12	7	33	22	276	289	95.5%
尿沈渣	12	22	25	20	11	13	12	10	10	6	7	6	154	163	94.5%
迅速検査	12	7	45	16	20	21	29	9	25	30	25	18	257	152	169.1%
遺伝子検査	20	31	40	39	43	32	40	29	32	34	33	15	388	681	57.0%
肝炎ウイルス検査	0	0	0	6	0	3	3	0	0	0	6	0	18	34	52.9%
心電図	8	13	18	41	20	12	0	6	1	2	4	2	127	129	98.4%
脳波	4	6	0	7	6	3	3	2	4	0	3	4	42	37	113.5%
超音波検査(乳房)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	218	274	362	389	241	211	206	156	155	187	218	139	2,756	2,888	95.4%

入院・長期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	72	54	53	69	94	122	109	91	137	79	64	53	997	1,040	95.9%
血算	73	55	53	69	107	122	108	94	137	79	64	55	1,016	1,053	96.5%
血液像鏡検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	
電解質	39	39	40	53	73	81	81	70	91	52	38	37	694	541	128.3%
迅速血糖(課内のみ)	1	3	5	4	2	6	5	5	1	2	0	0	34	43	79.1%
血中薬物濃度	5	7	1	0									13	173	7.5%
血液ガス分析	11	19	18	16	32	31	33	48	48	31	15	15	317	277	114.4%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	
尿定性	11	11	7	20	32	28	20	33	20	12	12	12	218	175	124.6%
尿沈渣	9	10	6	20	30	26	19	33	20	12	12	12	209	170	122.9%
迅速検査	13	9	14	21	34	73	61	34	51	50	29	19	408	210	194.3%
遺伝子検査	6	2	6	4	9	31	21	9	10	19	9	10	136	182	74.7%
肝炎ウイルス検査	0	0	0	0	18	3	0	6	6	9	3	9	54	75	72.0%
心電図	0	3	0	6	25	5	12	28	8	0	2	2	91	94	96.8%
脳波	2	1	1	3	2	0	3	3	0	1	1	0	17	10	170.0%
超音波検査(乳房)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	1	200.0%
合計	242	213	204	285	458	529	472	454	531	346	250	229	4,213	4,049	104.1%

イ 外注検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	70	96	102	133	83	48	62	90	104	52	67	49	956	1,092	87.5%
細菌培養	13	34	49	36	23	19	24	22	28	32	23	20	323	284	113.7%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	細1	0	0	0	0	0	病1	病1 細1	病1 細1	100.0%
合計	83	130	151	169	106	68	86	112	132	84	90	69	1,280	1,377	93.0%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	59	70	56	92	151	87	110	148	151	96	50	81	1,151	1,245	92.4%
細菌培養	28	18	19	38	61	42	34	69	56	30	23	11	429	353	121.5%
病理・細胞診	0	0	0	細1	0	0	0	0	細1	0	0	細1	細3	1	300.0%
合計	87	88	75	131	212	129	144	217	207	126	73	92	1,581	1,599	98.9%

遺伝子検査測定機 ID NOW をさらに1台導入した。新型コロナウイルス感染症の流行が収束しつつあり検査件数は減少した。しかし、突発的に検査が増えるため、2台で運用することにより待ち時間の短縮ができ、効率の良い運用が可能となった。院内血中濃度検査は、測定機の経年劣化による動作不良で、7月に運用を終えた。

④ 放射線課

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CT	13	29	25	19	3	7	3	4	12	3	2	1	121	103	117.5%
一般撮影	74	64	90	99	76	73	45	68	41	74	57	64	825	793	104.0%
ポータブル撮影	2	1	14	2	4	1	4	3	8	1	0	3	43	32	134.4%
透視検査(内視鏡含む)	17	12	9	17	13	11	13	9	10	8	8	15	142	143	99.3%
超音波検査	4	0	1	1	0	2	1	1	2	1	0	1	14	14	100.0%
画像ファイル	4	10	9	11	11	3	6	5	9	3	8	9	88	90	97.8%
歯科デンタル	5	5	5	3	1	2	7	5	2	6	2	11	54	69	78.3%
合計	119	121	153	152	108	99	79	95	84	96	77	104	1,287	1,244	103.5%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CT	11	15	8	11	32	27	42	36	31	42	28	20	303	311	97.4%
一般撮影	13	6	9	17	12	16	16	8	11	11	4	9	132	405	32.6%
ポータブル撮影	43	55	52	67	93	106	121	100	140	107	92	78	1,054	951	110.8%
透視検査(内視鏡含む)	37	41	41	39	45	40	48	37	49	48	38	42	505	501	100.8%
超音波検査	3	7	6	7	13	9	16	10	8	5	9	7	100	82	122.0%
画像ファイル	3	1	1	2	2	2	2	8	5	5	2	0	33	37	89.2%
歯科デンタル	1	6	3	1	0	1	4	2	0	3	0	0	21	15	140.0%
合計	111	131	120	144	197	201	249	201	244	221	173	156	2,148	2,302	93.3%

一般撮影（入院・入所）以外の各撮影の増減は、ほぼ前年度と変わらなかった。

一般撮影（入院・入所）が大幅に減少した理由は、整形外来の日数の減少のため。

⑤ 栄養課

ア 入所食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	2,914	3,207	2,972	3,038	3,153	2,795	3,004	3,049	3,037	3,046	2,921	2,942	36,078	34,592	104.3%
胃瘻食昼	767	780	775	813	806	721	737	769	749	737	702	721	9,077	8,447	107.5%
胃瘻食夕	308	321	321	349	371	283	224	306	331	323	303	313	3,753	3,520	106.6%
経管栄養食	10,606	10,686	10,661	11,124	11,377	10,807	11,174	10,745	11,062	10,894	10,185	10,708	130,029	130,832	99.4%
泊なし短期	0	0	0	0	0	2	4	0	1	0	0	2	9	13	69.2%
嚥下外来食	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4	75.0%

イ 特別治療食数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
加算食	510	527	513	523	558	540	502	510	526	525	473	525	6,232	5,941	104.9%

ウ 栄養指導実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来加算	0	0	0	1	1	0	3	3	3	2	1	1	15	18	83.3%
外来非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院時加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院時非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

エ 栄養サポートチーム (NST) 実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新介入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.0%
介入中	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6	15	40.0%
回診数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
介入終了	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	100.0%

オ 通所食数の実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	60	58	60	45	52	53	53	55	53	49	54	58	650	954	68.1%
胃瘻食	138	147	157	158	169	165	155	168	138	146	147	154	1,842	1,447	127.3%
合計	198	205	217	203	221	218	208	223	191	195	201	212	2,492	2,401	103.8%

カ 放課後等デイサービス食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
昼食(経口食)	28	0	8	17	62	0	0	0	14	15	0	30	174	160	108.8%
昼食(胃瘻食)	2	0	2	7	24	0	0	0	7	6	0	10	58	85	68.2%
間食	82	83	90	88	66	84	86	85	85	74	74	76	973	822	118.4%

給食数は、前年より、入所+4.7%、通所+3.6%上回った。3月については、終末期の利用者において絶食に伴う減数となった。通所は、経口食と胃ろう食の比率4:6から2.5:7.5に推移し、給食7割以上の利用者は胃ろう食注入していることがわかる。放課後等デイサービスの給食数(経口食及び胃ろう食)は、前年に比して+18.4%なり、利用稼働率の高さがうかがえる。

### (3) 居住支援部門

#### ① 長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
長期入所	A棟 (25名)	870	899	870	899	899	870	899	870	899	883	812	868	10,538	9,575	110.1%
	B棟 (26名)	900	930	900	930	929	896	922	900	926	926	870	930	10,959	10,070	108.8%
	C棟 (36名)	1,059	1,054	1,020	1,067	1,116	1,079	1,115	1,057	1,062	1,054	985	1,041	12,709	12,941	98.2%
	合計 (87名)	2,829	2,883	2,790	2,896	2,944	2,845	2,936	2,827	2,887	2,863	2,667	2,839	34,206	32,586	105.0%
	占床率 (%)	99.3%	97.9%	97.9%	98.3%	100.0%	99.8%	99.7%	99.2%	98.0%	97.2%	96.8%	96.4%	98.4%	99.6%	98.7%

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類となったことで活動の幅も広がり、季節行事は各棟のホール等を利用し家族にも参加していただき開催した。また、外出活動も感染症対策をしながら買い物やコンサートに出かけ、家族による外出や外泊も4年ぶりに実施できたことで利用者と家族との絆を深められた。4月に2名の方が逝去され、新長期者は前年度作成した名簿から2名を選考して受け入れた。また、11月に1名重症な感染症により転院された数日後に逝去され、1年前に悪性腫瘍に罹患された2名の方は、12月と1月に逝去された。その後、新たな長期入所者の募集をかけ70名の方が応募され次年度4月以降に新長期として入所される予定。新長期者が入所される期間の空床ベッドは、短期入所者で運用した。

#### ② 日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数 (回)	50	48	59	53	56	29	63	66	48	41	45	39	597	477	125.2%
参加人数 (人)	193	183	218	222	209	122	260	270	210	163	172	142	2,364	2,088	113.2%

年間を通し、入所中の楽しみの一つとして短期利用者へ日中活動を提供した。日中活動支援加算対象者も増えている。1月より、産休や退職者が相次ぎ活動提供回数が一人一回となってしまうが、楽しく参加してもらえるように活動内容の充実に務めた。



(4) 在宅支援部門

① 短期入所利用状況

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
短期入所 (延数)	A棟(1名)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	38	55	399	1,197	33.3%
	B棟(0名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	676	0.0%
	C棟(8名)	114	162	182	175	207	152	213	209	226	231	226	159	2,256	1,772	127.3%
	合計(9名)	144	193	212	206	238	182	244	239	257	262	264	214	2,655	3,645	72.8%
占床率(%)		53.3%	69.2%	78.5%	73.8%	85.3%	67.4%	87.5%	88.5%	92.1%	93.9%	101.1%	76.7%	80.6%	74.5%	108.2%
申し込み(件数)		75	71	80	66	68	65	59	54	58	51	48	57	752	977	77.0%
利用不可(件数)		46	38	33	32	23	26	14	17	21	10	13	26	299	145	206.2%

昨年度、後半から短期入所の受入れがC棟のみとなり定数を8床として運用を開始した。しかし、年度開始より職員の定数が満たされず4床での運用となったが、6月よりミドルで利用する利用者が1名入所したことで実質5名の運用となった。8月になると職員の欠員も若干解消され6床の運用まで改善した。また、1月にはA棟の長期利用者が逝去され新長期受入れまでの期間、短期入所を受け入れたことで全体の稼働率が高まった。短期入所者への活動も日中活動室と協力して積極的に行った。

② 入院利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年上期合計	前年上期比
C棟(3名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
占床率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.0%	0.0%	0.0%

③ 生活介護(通所)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
在籍者数	39	37	37	37	37	36	36	36	36	36	36	36	37	40	91.5%
通所日数	20	20	22	20	22	20	20	20	20	18	19	20	241	243	99.2%
通所者数	296	298	314	286	300	293	287	302	276	275	272	301	3,500	3,523	99.3%
電話支援	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	413	4.4%
欠席者数	62	61	85	74	99	81	65	51	76	62	72	55	843	1,376	61.3%
1日平均通所者	15.7	14.9	14.3	14.3	13.6	14.0	14.4	15.1	13.8	15.3	14.3	15.1	14.6	16.2	90.1%

4月新規利用4名のうち1名は、24時間呼吸器使用、腸瘻持続注入、首と腰が座っていないため移送にリスクがある方だったが、内定通知を出した。しかし、移動サービスが見つからず、コーディネーター、ぱざぱネットなどに相談したが、進展はなく、母親と毎月連絡を取り、後期に体験通所を実施しながら1年保留となった。5月に新規の方1名、療養型病院に入院されていた方1名逝去。母親が病に倒れ、後遺症が残り介護困難・在宅生活困難となり、短期入所を利用し、生活の場が当センターとなり、8月に退籍となった方が1名。意向調査を行なったが、増回数となった方は1名だった。後期、高等部3年生の実習は、希望者全員、5名を受け入れた。

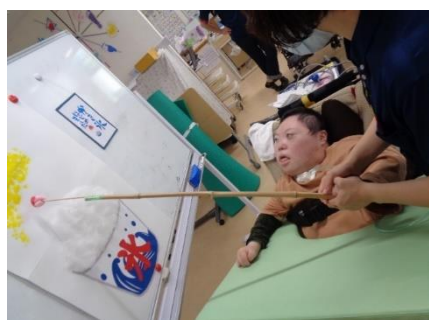
家族が新型コロナウイルス感染症に罹患したなどの休みが多くあった。通所利用者の医療度、重症度も上がり、家族負担軽減のための短期入所、複数科に亘る受診、体調不良による入院も多くあった。2月6日積雪のため、送迎が危険と判断し休園とした。目標値を18名/日としていたが、14.6名/日となり、目標達成には大きく届かなかった。

通所利用希望者は、医療度の高い方が多いが、通所に配置しているベッドは16台となっており、今後の受け入れについての検討が必要である。

活動は、感染対策を講じながら、個別活動、チームによる活動などを工夫し、イベントは1週間実施し、全員参加できるようにした。3月には、納め会週間とし、保護者会会長・副会長からの申し入れのあった漫才映像をみんなで観て楽しみ、1年の出来事を振り返る職員手作りの双六をZoom利用により、チーム対抗戦で行い、全員で1年を振り返ることができた。利用者それぞれ、自分の写真を選び、カレンダーを作成し、今年度の記念品とした。地域交流は、二俣川教会との交流を継続し、クリスマスコンサートも開催した。ボランティアも徐々に再開している。

生活介護事業は、家庭、併用施設など、利用者1人ひとりの生活に直結しており、感染のリスクも大きく受けるが、今年度も閉所することなく運営できたのは、利用者、家族の協力、当センターの感染対策、そして、職員1人ひとりの感染対策、責任ある行動によるものと考えている。

利用実績（欠席の多さ）、利用者の医療度の高さ、送迎、新規等の利用者受け入れなど課題がある。重症心身障害の方を受け入れている市内8事業所へアンケートを取り、当センター生活介護の現状と課題と併せ、横浜市健康福祉局へ提言した。今後も課題解決に向け、取り組んでいく。



夏の Big Art 作成  
(チームで協力して1つの絵を完成)



紙漉き



園芸活動  
(苺の花が咲きました)

#### ④ 訪問看護ステーションえーる

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数(件)	186	206	213	198	205	187	210	193	198	187	162	190	2,335	2,137	109.3%
電話支援(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.0%
1日平均	9.3	10.3	9.7	9.9	9.3	9.4	10.0	9.7	9.9	9.9	8.5	9.5	9.6	8.8	109.0%
リハ同行数	11	9	12	9	9	10	16	9	6	11	5	8	115	109	105.5%

2023年度は、契約件数45人、訪問件数185件/月を部署目標とし、4月に職員5人体制で訪問看護業務をスタートしたが、5月に1人、9月に1人、計2人の職員が退職し、9月から

は職員3人で業務を継続した。職員の欠員状況は改善できず、2024年1月からは、契約件数44人、訪問件数120件/月に目標を修正した。全利用者に訪問回数の減数の協力依頼、他事業所と連携することで実質訪問回数の維持、訪問日時の変更し業務見直しを行い、業務縮小に取り組んだ。しかし、医療依存度の高い利用者が多い当事業所の特徴や24時間加算を申請していること、短期入所先の縮小や在宅医を主治医に持つ利用者の増加から多機関との連携の中心的役割を担うことも求められ、訪問件数の顕著な減少には繋がらなかった。全体の業務の洗い出しを行い、業務改革を積極的に実施したが職員の負担は大きい年度であった。

⑤ 居宅介護課（まいはひと）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数	368	366	395	354	385	356	378	385	409	399	376	415	4,586	5,929	77.3%
1日平均	18.4	18.3	18.0	17.7	17.5	17.8	18.0	19.3	20.5	21.0	19.8	20.8	18.9	24.4	77.5%

4月より利用者数を削減し、常勤職員も4名の縮小体制での運営となった。

⑥ 放課後等デイサービスはみんぐ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	94	92	102	94	101	92	98	90	86	84	69	83	1,085	1,031	105%
電話支援	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	170	4%
1日平均	5.0	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.5	4.3	4.4	3.6	4.2	4.5	4.9	91%

新型コロナウイルス感染症予防対策の一環で行われていた「電話支援」の制度は、5月で終了となった。

⑦ 送迎事業

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
登校 (累計)	16	20	19	13	4	20	21	20	16	16	17	16	198	192	103%
下校 (累計)	14	20	18	13	4	18	17	19	14	16	16	14	183	184	99%
登校 日数	16	20	20	13	4	20	21	20	16	16	19	16	201	201	100%

⑧ 医療福祉相談室

相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話(メール)	335	399	357	323	400	317	321	374	356	345	343	346	4,216	5,326	79.2%
来所	53	62	128	69	69	88	99	97	103	98	98	140	1,104	997	110.7%
訪問等	94	78	75	93	111	97	105	117	115	120	116	131	1,252	1,079	116.0%
合計	482	539	560	485	580	502	525	588	574	563	557	617	6,572	7,402	88.8%

昨年度に比べて2割減となり、そのうち8割が受診に繋がった。電話相談の5割が「小学生」、続いて、「18歳以上」、「中学生」となった。また、新患の主訴の5割が「知的・発達系」、続いて、「重心」、「不明」となった。相談の主訴で「知的・発達系」が8割を占めていたが、今年度は5割に減少した。



短期入所調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	75	71	80	66	68	65	59	54	58	51	48	57	752	977	77.0%
利用件数	21	29	38	32	36	30	42	33	33	36	34	23	387	654	59.2%
利用不可※1	46	38	33	32	23	26	14	17	21	10	13	26	299	241	124.1%
キャンセル※2	1	3	2	2	5	9	2	2	4	4	0	5	39	83	47.0%

※1 満床等の理由により入所対応ができなかった件数

※2 利用者からのキャンセル数

人員不足により短期ベッドの稼働が困難な状況が続き、申し込み者を調整することに苦慮した。また、断りの説明・謝罪、クレーム対応を丁寧に行い、理解に繋げられるよう努めてきた。毎月の申し込み数の減少要因については、申し込んでも利用に繋がらないことと推測される。また、新規の利用希望が相次いでいるが、実質4年間新規受付を休止した状態となっていることが大きな課題である。

計画相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
総契約数	124	122	122	122	124	124	124	126	127	126	125	125	1491	1466	101.7%
立案数	1	0	1	0	2	0	5	6	3	49	7	12	86	65	132.3%
モニタリング数	10	12	8	16	10	7	11	13	10	19	10	6	132	167	79.0%
合計	11	12	9	16	12	7	16	19	13	68	17	18	218	232	94.0%

今年度も新規希望者について、柔軟に対応した。他事業所からの移行も含めて7名と新規契約、計画相談支援を開始した。一方で、逝去による終結や他施設への長期入所決定による事業所移行があり5名が契約終了となった。今年度は長期入所者の多数が3年に1回の更新年であり、そのほとんどが1月更新に集中しているため、1月から繁忙となり相談員の業務負担が著しかった。全体としては加算対象の業務を洗い出し、積極的に加算をとってくよう意識改革に努めた。

(5) 安全管理部門

① 医療安全

インシデント・アクシデント件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
レベル	0	4	4	6	9	6	5	9	4	18	10	3	12	90	107	84.1%
	1	24	19	26	26	30	17	15	22	22	16	17	23	257	284	90.5%
	2	16	6	20	16	14	5	15	10	10	11	13	15	151	249	60.6%
	3-a	5	4	1	6	4	3	4	4	2	2	0	2	37	97	38.1%
	3-b	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	4	5	80.0%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

インシデント総数は539件となり、昨年748件から平年並みの数値に戻った。外傷は75件(昨年度140件)と半減となったが、今年度骨折(3-b)が4件あった。2件は原因が明らかではなく、時間を経て判明した。2件は移送時に起きており、内1件は、最近取り入れたス

ライディングボード使用中に起きた。スライディングボードの使用については、安全に使用できるようノーリフトチーム・安全対策部会メンバーにより各部署で再度研修を行った。

年間のインシデント・アクシデントレベル指数  $\left( ( \text{レベル}0 \text{の報告数} \times 0 ) + ( \text{レベル}1 \times 1 ) + ( \text{レベル}2 \times 2 ) + ( \text{レベル}3 \times 3 ) \right) / ( \text{インシデント・アクシデント報告数} ) \times 100$  は昨年度の 1.48% から 1.27% に減少した。レベル 2 は、154.7% から 61.8%。レベル 3 は、215.6% から 37.1% と減少しており、昨年度の高値は原因不明の外傷件数が多かったためと考えらる。軽微または未然に防ぐことができた 1~0 レベルの報告が相対的に増えた。

安全対策部会では、投薬・注入の行動確認チェックに取り組んだ。今後も正しい行動確認が身につくよう取り組む。また、麻薬の使用が増加した。薬剤課・医師・看護部とマニュアルを見直し、事故防止対策を再構築した。また、他の委員会等へ安全管理の視点から参加し、管理課と共同して、BCP 訓練の実施及びガイドラインの策定、防犯カメラの全棟設置、センター内の危険個所の改善に取り組んだ。

## ② 感染予防対策

新型コロナウイルスワクチン接種件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
接種件数	0	157	285	54	12	86	292	101	28	6	0	7	1,028	1,594	64.5%

利用者利用者家族、職員職員家族、横浜市民の新型コロナワクチン 6 回目・7 回目を接種した。利用者家族からは土日の新型コロナワクチン・インフルエンザワクチン集団接種を望まれたが、医師・看護師不足から今年度集団接種は実施しなかった。外来では毎日接種体制で運用したが、接種件数は減少した。

新型コロナウイルス感染症対策については、5 類移行に伴い、面会頻度・時間の拡大、外泊・外出活動開始、コロナ禍前の 6 割程度でのほのぼの祭の開催・リハ訓練室をコロナ前の状態に戻すなど、センター内の感染予防対策も徐々に解除した。

長期利用者は 13 名発症。今年度は呼吸状態が悪化するなど、重症化する利用者もいた。社会的には新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和する変化の中、長期利用者への影響に鑑みつつ、利用者の社会活動や生活の質の向上に向けた感染防止対策が必要である。

感染対策部会では、手指衛生遵守率を知る目的で、全職員に使用本数を確認する取り組みをおこなった。

11 月より感染管理認定看護師が配置されたことが強みとなり、多剤耐性菌に対する感染予防策を含め、新たな横療における感染予防対策が構築されるよう協力する。

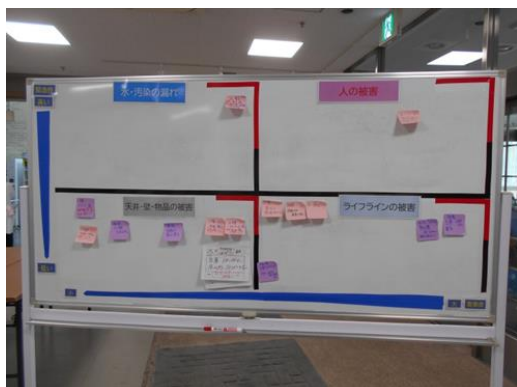
## (6) 管理部門

### ① 管理課職員採用状況（非常勤職員は除く。）

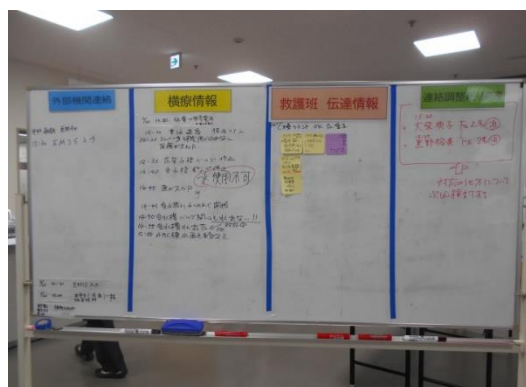
職種	理学療法士	薬剤師	看護師	看護助手	生活支援員	事務クラーク	事務員	合計
採用者	2	1	12	3	7	1	4	30
退職者	0	0	16	1	9	0	2	28

### ② 事業継続計画（BCP）の取組状況

2023年度も毎月BCP委員会を開催し、自然災害による被害想定・復旧・事業継続について検討した。2024年1月1日に発生した能登半島地震で、大きな被害を受けたのが「水」であり、復旧まで長期間を要したことを受け、2月のBCP全体訓練では、初動対応後に断水を想定した訓練として、受水槽からポリタンクに水を入れる訓練や非常用簡易トイレの設置訓練等を取り入れた。断水した場合の水の備蓄についても再検討し、備蓄倉庫の設置と長期保存水の購入を決定し、2024年度に実施予定。



重要度と緊急度に分けた被害状況ボード



外部連絡（時系列）／救護班対応内容（時系列）



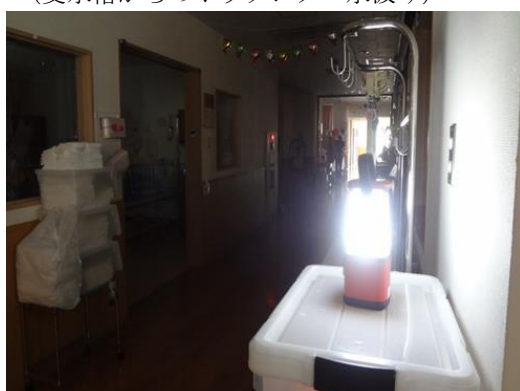
断水時想定対応へ

（受水槽からのポリタンクへ水汲み）



断水時想定対応

（ポリタンクの水を各部署へ配布）



停電時対応（ランタン設置）



停電時対応（アルミブランケット対応）

## ③ 保育室ひかり

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	181	175	242	180	234	271	296	259	248	240	265	282	2,873	3,136	91.6%
1日平均	10.0	11.0	13.0	13.0	15.0	16.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	15.0	10.8	139.5%
一時保育利用児総数	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	25	20.0%

## ④ 病児保育室あさひ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	39	46	57	55	50	47	59	47	50	42	47	33	572	544	105.1%
1日平均	2.0	2.3	2.6	2.8	2.3	2.4	2.8	2.4	2.5	2.2	2.5	1.7	2.4	2.2	105.5%

新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、横浜市の決定により、当面の間、病児保育室では預かれない病気に指定された。利用時の抗原検査の有無はかかりつけ医の判断に任されている。病児保育室内での2次感染を防止するために、慎重に預かりを判断した。そのため、一部屋一家族の預かり方を継続した。それにより、昨年度とほぼ同じ実績数となった。このような状態ではキャンセル待ちが多くなり、必要な時に利用ができないという印象を与えてしまい、申し込みが減少することを危惧する。同病名同室の預かりができるよう慎重に対応していく。

## IV 地域療育センターあおば

5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に位置付けられたが、マスク着用や換気等の感染対策を変更なく行ったうえで事業を継続し、施設内での感染拡大は起こらなかった。

診療部門は、4月より新たなセンター長が着任して診療体制の見直し・整備に努め、前年度の外来診察及び訓練件数を上回った。

児童発達支援及び児童発達支援事業所は、契約利用児数の変動や引っ越し等による退園及び感染症などの欠席により前年度同様の出席数に留まった。

相談部門は通常の相談や関係機関調整業務以外にも、保育所等訪問支援や学校訪問支援等の利用者ニーズに合わせたサービス支援を行い、いずれも前年度を上回る実績としている。

このような運営状況下、相談から診療まで待機期間が長期化しているため、横浜市における地域療育センターの新たな取り組みとして、保護者の不安等の解消を目的とした外部拠点（一次支援事業）に着手し、賃貸借契約や内装工事、運営概要を概ね年度内に整えることができた。

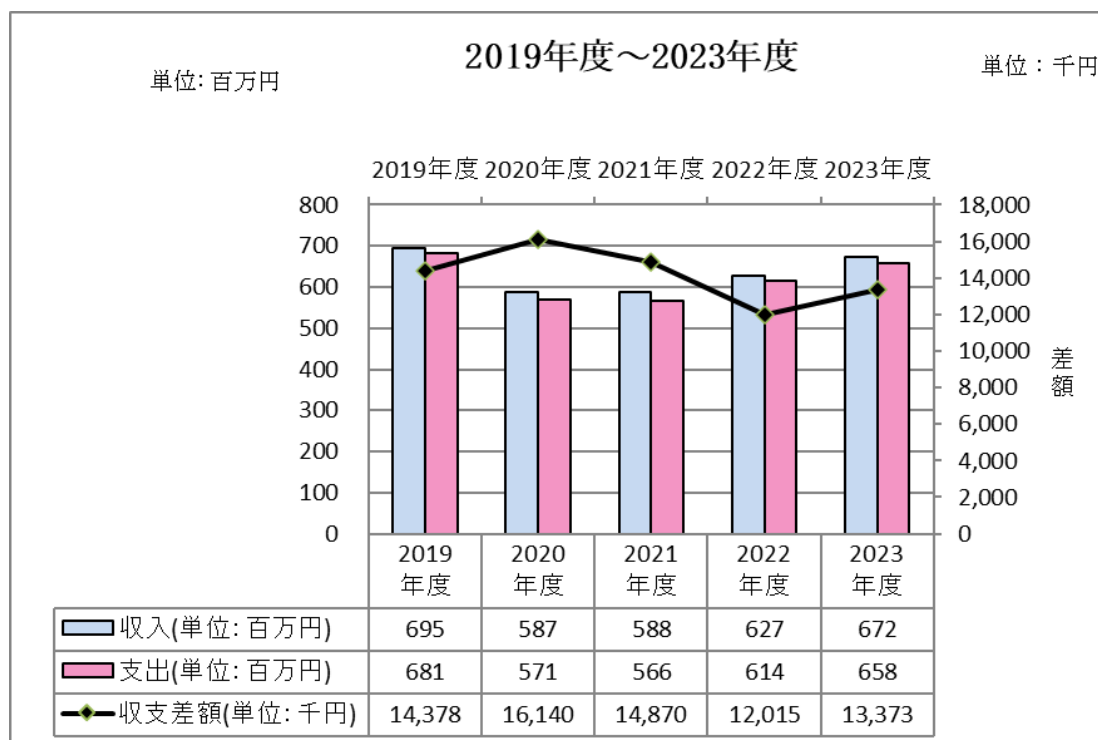
収支の面では、新事業の準備による人件費支出等の増加があったが、障害福祉収入及び医療収入の増加により例年どおりの収益を維持することができた。

各部署の実績は以下のとおりである。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
外来診療	40.6名/日	39.0名/日	96.1%
福祉型児童発達支援	41.4名/日	37.7名/日	91.1%
医療型児童発達支援	15.5名/日	10.4名/日	67.1%
児童発達支援事業	10.5名/日	7.6名/日	72.4%
障害児相談支援事業	220名	225名	102.3%
保育所等訪問支援	60名	94名	156.7%

## 2 資金収支差額の推移



児童発達支援事業等の出席率の増加に伴い障害福祉収入は前年比3%、外来診療の増加に合わせ8%の増収となった。支出は新事業準備により人件費及び事務費が7%増加したが運営補助金の補填により収支差額は11%の増加となり、例年どおりの収益を維持した。

## 3 各部署の報告

### (1) 診療課

#### ① 医師診察

療育センター併設の診療所では、0歳から小学校期までの療育に関する相談・診療・指導等を行う。原則として小学校卒業までの児童を対象とするが、未就学児に対する診察の割合が全体の約7割弱を占める。

区 分	新規診療	再 診	計
未就学	326	1,510	1,836
学 齢	102	781	883
合 計	428	2,291	2,719

療育センター全体として相談の開始年齢が早まる傾向に伴い、未就学児の新規診療割合は増加した。診療体制を整備することで小規模療育等の診療部門の関わり、再診療件数が増加し、全体的な診療件数も1～2割程度増加した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比		
新規診療	発達精神科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小児神経科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	児童精神科	未就学	13	8	11	7	3	2	4	7	5	3	4	2	69	68	101.5%	
		学齢	3	5	9	8	8	13	8	7	10	11	9	10	101	117	86.3%	
	小児科	未就学	16	20	16	22	22	21	20	12	16	11	20	11	207	204	101.5%	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	100.0%	
	耳鼻科	未就学	4	2	6	4	3	3	4	5	6	5	4	4	50	41	122.0%	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	摂食外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
補装具外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	未就学	33	30	33	33	28	26	28	24	27	19	28	17	326	313	104.2%		
	学齢	3	5	9	8	8	13	8	7	10	11	10	10	102	118	86.4%		
	計	36	35	42	41	36	39	36	31	37	30	38	27	428	431	99.3%		
再診療	発達精神科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小児神経科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4	50.0%	
	児童精神科	未就学	8	6	8	10	16	15	21	20	24	15	14	25	182	205	88.8%	
		学齢	37	58	45	42	46	42	44	45	41	42	40	63	545	493	110.5%	
	小児科	未就学	57	60	76	99	109	133	106	93	84	111	124	74	1,126	755	149.1%	
		学齢	5	5	10	10	11	9	7	7	8	8	4	3	87	93	93.5%	
	耳鼻科	未就学	4	1	8	4	5	4	3	6	4	9	11	8	67	56	119.6%	
		学齢	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	300.0%	
	摂食外来	未就学	0	3	0	6	0	8	0	3	0	7	0	7	34	18	188.9%	
		学齢	0	1	0	1	0	0	0	3	0	1	0	0	6	8	75.0%	
補装具外来	未就学	5	6	5	7	13	9	8	17	6	9	9	7	101	99	102.0%		
	学齢	11	13	18	15	7	12	16	9	0	12	18	7	138	145	95.2%		
小計	未就学	74	76	97	126	143	169	138	139	118	151	158	121	1,510	1133	133.3%		
	学齢	53	77	76	69	64	63	67	64	50	63	62	73	781	744	105.0%		
	計	127	153	173	195	207	232	205	203	168	214	220	194	2,291	1,877	122.1%		
総計		163	188	215	236	243	271	241	234	205	244	258	221	2,719	2,308	117.8%		

② 訓練等

作業療法は、年度途中で欠員が生じ前年度比から1割程度訓練数が減少したが、その他の訓練及び指導は年間通して、比較的安定して業務を遂行して1～3割程度増加した。心理部門は産休等により欠員が生じたが、法人内の応援職員等が業務にあたり、前年比増をすることができた。

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
機能訓練	理学療法	未就学	69	65	74	73	94	85	86	98	81	91	95	1,016	893	113.8%	
		学齢	60	51	56	49	51	50	54	50	45	53	54	42	615	676	91.0%
	作業療法	未就学	105	127	123	121	123	127	134	119	109	124	113	125	1,450	1,551	93.5%
		学齢	43	37	34	34	56	24	31	23	26	22	21	19	370	437	84.7%
	言語療法	未就学	73	87	112	96	93	99	109	96	117	131	103	117	1,233	1,006	122.6%
		学齢	24	22	22	28	28	19	16	16	19	11	15	8	228	127	179.5%
	聴力検査	未就学	23	19	30	21	27	17	22	21	24	23	23	20	270	207	130.4%
		学齢	0	2	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	7	7	100.0%
	合計	未就学	270	298	339	311	337	328	351	334	331	369	334	367	3,969	3,657	108.5%
		学齢	127	112	114	111	137	93	101	89	91	86	90	69	1,220	1,247	97.8%
計		397	410	453	422	474	421	452	423	422	455	424	436	5,189	4,904	105.8%	
心理指導	心理療法	未就学	65	78	129	126	146	145	153	160	154	153	164	173	1,646	1,499	109.8%
		学齢	33	37	33	27	31	27	28	23	18	26	31	32	346	325	106.5%
	(うち心理検査)	未就学	28	20	38	47	50	40	48	47	45	35	39	38	475	446	106.5%
	学齢	21	14	19	13	18	11	15	10	10	14	11	15	171	155	110.3%	
栄養相談	未就学	0	6	0	1	1	2	6	3	0	2	6	2	29	18	161.1%	
	学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	20.0%	
補装具クリニック		16	19	23	22	20	21	24	26	6	21	27	14	239	265	90.2%	





### (3) 相談課

#### ① 相談業務

相談業務の合計については、未就学児への対応は4,987件(87.1%)、学齢児への対応は738件(12.9%)となり、未就学児への対応の比率が大きかった。2022年度と比較して未就学児への電話・面接対応と学齢児の面接対応の伸びが目立っている。学齢児の電話相談件数は減少しているものの、未就学の合計(4,987件)と学齢児の合計(738件)を合わせた総計は5,725件となり、2022年度の総計4,686件に対して、1.22倍の伸びとなった。

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	357	409	360	337	325	456	413	311	411	276	283	280	4,218	2,646	159.4%
	学齢	72	47	52	52	36	55	41	50	34	27	37	33	536	925	57.9%
面接	未就学	49	56	65	77	39	38	73	62	43	45	36	42	625	580	107.8%
	学齢	16	12	18	12	14	15	19	19	24	16	17	14	196	159	123.3%
文書	未就学	1	7	5	1	11	16	9	4	5	5	2	78	144	252	57.1%
	学齢	0	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	6	124	4.8%
合計	未就学	407	472	430	415	375	510	495	377	459	326	321	400	4,987	3,478	143.4%
	学齢	88	60	70	65	52	72	60	69	58	43	54	47	738	1,208	61.1%

#### ② 関係機関調整

電話での連絡・調整・情報共有等が中心となり、未就学児で62.9%(1,523/2,422)、学齢児で78.2%(262/335)となった。2022年度と比較して、来所/出張の件数が大きく伸びており、新型コロナウイルス感染症に関する社会環境の変化が影響している可能性も考えられるが、相手方の関係機関と直接会って調整する必要性が高いケースが増えてきていることも考えられ、今後の傾向を見極めていく必要がある。

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	85	109	184	104	103	132	152	81	126	129	159	159	1,523	1,564	97.4%
	学齢	34	15	23	22	21	17	18	31	19	22	20	20	262	589	44.5%
来所/ 出張	未就学	31	78	48	97	29	87	69	49	47	51	24	126	736	108	681.5%
	学齢	4	6	3	2	5	5	2	2	3	1	4	22	59	43	137.2%
文書	未就学	22	13	16	4	10	5	47	3	3	5	2	33	163	241	67.6%
	学齢	1	0	2	5	0	2	1	0	1	0	2	0	14	173	8.1%
合計	未就学	138	200	248	205	142	224	268	133	176	185	185	318	2,422	1,913	126.6%
	学齢	39	21	28	29	26	24	21	33	23	23	26	42	335	805	41.6%
	総計	177	221	276	234	168	248	289	166	199	208	211	360	2,757	2,718	101.4%

#### ③ 巡回相談

新型コロナウイルス感染症の社会状況等を随時踏まえながら、対策やルール等を訪問先と丁寧に調整、共有しながら事業を実施している。全体の比率としては、保育園が67件(79.7%)、幼稚園が17件(20.2%)となっており保育園からの依頼が多く、前年比でも59件から67件へと113.6%の増となった。一方で幼稚園からの依頼が若干減っており背景も含めて、今後の推移を確認していく必要がある。

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育園	0	7	14	13	0	11	9	3	2	6	2	0	67	59	113.6%
幼稚園	0	3	5	3	0	3	1	1	1	0	0	0	17	20	85.0%
合計	0	10	19	16	0	14	10	4	3	6	2	0	84	79	106.3%

#### ④ 障害児相談支援事業（利用計画書作成件数）

計画作成については、当センターの通園、こだち、保育所等訪問支援事業を利用する児童を対象に作成している。2023年度は2022年度と比較して計画作成が減少した一方、モニタリング実施の重点化を図り、前年度より73件増の163.5%の実施をしており、合計件数では2022年度の389件に対して24件増の413件(106.2%)の実施となった。

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
計画作成	4	6	3	4	5	8	6	5	1	0	153	30	225	274	82.1%
継続計画作成 (モニタリング)	0	6	24	20	1	61	24	8	1	25	11	7	188	115	163.5%
合計	4	12	27	24	6	69	30	13	2	25	164	37	413	389	106.2%

#### ⑤ 保育所等訪問支援事業

保育所等訪問支援事業は、センターあおばの専門職が対象児の所属する保育所等の現場を直接訪問し、集団生活を安心・安定して過ごせることができるよう支援を行い、訪問先の職員に支援方法の提案や情報提供・共有等を行う事業として実施した。2021年度が53件、2022年度が64件、2023年度が84件と年々増加している。新型コロナウイルス感染症の社会状況の変化の影響も考えられるが、経年実施の中でのお互いの関係性や信頼性の構築に基づくニーズの高まりがあることが考えられる。引き続き、適切な事業展開を図っていく。

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育所等訪問支援事業	0	2	6	9	5	14	11	11	14	4	6	2	84	64	131.3%

#### ⑥ 学校支援事業

依頼を受けた青葉区内の小学校へセンターあおばの専門職員(ソーシャルワーカー、心理士等)が直接訪問し、コンサルテーション(児童が教室にいる状況での授業参観と振り返り等の情報共有・アドバイス)や教職員向けの研修会を実施した。また、小学校側の依頼やニーズに合わせた内容を適宜工夫して実施した。年度始めの新小学1年生へのコンサルテーションのニーズが高く、学校支援を通じて障害児の学習環境の向上に寄与するとともに、地域の関係機関支援の一つとして実施した。

	合計
実支援学校数	27 校
延べ訪問件数	33 件
内コンサルテーション	28 件
研修	5 件

#### ⑦ 地域ニーズ対応事業

##### ア 保護者のためのこころのケア相談

こころのケア相談では、事業の委託をしている精神保健福祉士(大学教授)による、支援を要する保護者への直接支援と、ケース支援を行うソーシャルワーカーへのスーパーバイズ支援の2つ内容を実施した。保護者支援については、面接や電話での直接支援に

入る前からの導入検討、事前カンファ、支援後の事後カンファを丁寧に行うことで、担当ソーシャルワーカーとの調整や検討、情報共有等を図っている。

ソーシャルワーカーへのスーパーバイズでは、ケース相談や相談したケースの経過報告、メール連絡等で、ケースの見立てや支援方針等の検討・調整と共にスーパーバイズを受けることによりケースへの支援の視点の質の向上や、ソーシャルワーカーの資質の向上を図っており、2023年度は「ソーシャルワーカーの価値基準」をテーマに事業委託の精神保健福祉士による研修会を2回実施し、全体のレベルアップを図った。

保護者支援	面接	4	件
	電話	0	件
	導入検討	4	件
	事前カンファ	3	件
	事後カンファ	4	件
S W 支援 (スーパーバイズ)	ケース相談	3	件
	経過報告	4	件
	SW面接への同席	0	件
	その他(メール等)	1	件

#### イ あおばであそぼ(ひろば事業)

あおばであそぼ(広場事業)は「子育て支援や療育センターそのものへの理解を深めていただくため、施設を開放し、遊び場を提供することで育児の不安や発達の心配感に寄り添うこと」を目的としている。青葉区福祉保健センターの発達相談で同事業の案内、紹介を経て参加された方が全体の3/4を占めている。参加家族のニーズ等に合わせ、月1回、土曜日の午前中に実施した。(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延べ利用児数	2	3	6	4	5	2	1	3	0	3	3	0	32	48	66.7%

#### ⑧ その他 独自事業

##### ア はろお!(一次支援事業)

ソーシャルワーカーとの事前面談(インテーク面談)後、初回診察や総合評価、集団療育サービスの提供等に繋がるまでの期間(初回診察後1年程度まで)の支援ニーズに対応して、2022年度からセンターあおばに来所して親子で遊びと相談ができる広場(はろお!)の提供を開始している。本格実施の2年目となる2023年度は、2022年度と比較して、開催回数が136.4%、延べ利用児数が120.5%の増となっており、着実な事業展開が進んでいる。一次支援事業はニーズへの対応として各地域療育センターが独自の方式で実施を開始してきた経過があるが、横浜市では中期計画(2022-2025年度)で同事業の市全体の利用児数を直近の2,262名から5年間で16,000人(約7倍)にすることとしており、2023年度から予算措置を開始している。センターあおばについては、2024年度の事業開始を目途として、準備を進めた結果、2024年4月からの事業開始に結びつけた。次年度以降、新たな場所・環境等での展開を着実に推進していく。(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
開催回数	9	17	16	19	9	19	15	16	18	14	11	13	176	129	136.4%
延べ利用児数	16	36	24	42	23	28	36	39	42	34	27	35	382	317	120.5%

イ みんなであそぼ(地域支援事業)

センターあおぼの保育士・ソーシャルワーカー・OT等が地域ケアプラザ等地域へ出向いて遊びの場を共有しながら、成長・発達が気になる乳幼児の様子を伺い、保護者からの相談も受ける事業を2022年度からすすき野ケアプラザで月1回、定期的に行っている(対象児については、センターあおぼの利用の有無は問わない)。2023年度からは奈良地域ケアプラザでの定期開催(月1回)を追加したことで延べ利用児数は前年比185.1%の増となっており、地域の中で療育の視点を通じた育児の助言ができる場として、相談の機会を提供した。(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延べ利用児数	8	5	9	8	9	7	11	5	6	5	7	7	87	47	185.1%

(4) こども支援室こだち

① 児童発達支援事業所

例年とおおり、5月より療育を開始した。1クラス6名、8クラス運営で定員は48名となっていたが、多くの方々から利用希望の申込があったため、1クラスのみ前期と後期に分け、半期での療育提供をしたため、総利用人数は54名となった。半期のみの療育提供となることで、これまでの療育内容を大きく見直す必要があったが、多くの利用児を受け入れることができたため、1年間には及ばない半期であっても療育効果が望めるという実績を積むことができた。保護者への支援としては、年長児の保護者への就学支援や日々の懇談の他、先輩保護者に講演いただく機会を設定し、聴講した保護者からは好評を得た。(名)

クラス名	登園日数/週	曜日	3歳	4歳	5歳	合計	前年度合計	前年度比
かえで①クラス	1日	月	0	0	6	6	6	100.0%
かえで②クラス	1日	火	0	0	6	6	7	85.7%
かえで③クラス(前期)	1日	水	0	0	6	6	6	100.0%
かえで③クラス(後期)	1日	水	5	1	0	6		
かえで④クラス	1日	木	0	0	6	6	7	85.7%
かえで⑤クラス	1日	火	0	6	0	6	6	100.0%
かえで⑥クラス	1日	水	0	5	1	6	7	85.7%
かえで⑦クラス	1日	木	0	0	6	6	6	100.0%
かえで⑧クラス	1日	金	0	0	6	6	6	100.0%
合計			5	12	37	54	51	105.9%

② 児童発達支援事業所出席率

例年とおおり、4月中は面談を実施し、5月からの療育開始となった。転居等により、定員に空きがある時期もあったが、概ね定員48名が充足された。依然として新型コロナウイルス感染症の流行が繰り返されたことに加えて、インフルエンザやプール熱等の感染症の流行もあり、在籍児やそのご家族の罹患による欠席者が増え、出席率の低下につながった時期もあったが、前年度よりは上回る結果となった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	47	171	160	192	132	144	125	197	108	144	189	53	1,662	1,707	97.4%
出席日数 (実績)	46	150	133	154	112	123	98	151	93	130	152	47	1,389	1,395	99.6%
出席率	97.9%	87.7%	83.1%	80.2%	84.8%	85.4%	78.4%	76.6%	86.1%	90.3%	80.4%	88.7%	83.6%	81.7%	102.3%
在席児数	47	47	47	48	48	48	47	48	48	48	47	47			

## (5) 公開講座

センターあおばの保護者向けの集合研修であるあおば講座を12回、企画・実施した。あおば講座Ⅰでは、新型コロナウイルス感染症の感染状況の推移も踏まえ、講座参加の方法を当日の来所参加、Zoomでの参加、後日の動画配信(アーカイブ視聴)の3つから選択できるように工夫している。あおば講座Ⅱは、保護者・家庭の生活状況等に合わせ、視聴のタイミングを自由に選べるアーカイブ視聴として実施した。各講座の申込み数、参加・視聴数は上記のとおりとなったが、2023年度のアンケート結果等も踏まえ、次年度のテーマ、方法をさらに工夫・調整していく。

### あおば講座Ⅰ

	公開日	テーマ	講師	申込人数	参加人数
第1回	6月30日	発達障害を知ろう ～こだわりや集団参加の苦手への支援～ 前編	千代田クリニック 吉田 友子医師	25	21
第2回	9月1日	発達障害を知ろう ～こだわりや集団参加の苦手への支援～ 後編	千代田クリニック 吉田 友子医師	36	17
第3回	10月12日	手の発達段階から見た食具(スプーン、フォークなど)の操作について	地域療育センター 作業療法士 鴨井	27	11
第4回	11月6日	就学に向けて①～いまどきの小学校って?～	地域療育センター 心理士 梁島	23	16
第5回	1月19日	就学に向けて① ～先生方との連携・家庭で気を配りたいこと～	地域療育センター心理士 平木、宮本	34	19
特別	2月16日	発達障害を知ろう ～思春期と付き合う～	地域療育センター横山 史隆	34	21

### あおば講座Ⅱ (公開日～年度末までの動画配信講座)

\*センターあおば利用の保護者が対象

	公開日	テーマ	講師	申込人数	視聴回数
第1回	6月30日	発達障害を知ろう ～こだわりや集団参加の苦手への支援～ 前編	千代田クリニック吉田 友子医師	56	139
第2回	9月1日	発達障害を知ろう ～こだわりや集団参加の苦手への支援～ 後編	千代田クリニック 吉田 友子医師	73	70
第3回	10月12日	手の発達段階から見た食具(スプーン、フォークなど)の操作について	地域療育センター 作業療法士 鴨井	53	50
第4回	11月6日	就学に向けて① ～いまどきの小学校って?～	地域療育センター心理士 梁島	38	71
第5回	1月19日	就学に向けて①～先生方との連携・家庭で気を配りたいこと～	地域療育センター心理士 平木、宮本	34	57
第6回	2月16日	発達障害を知ろう～思春期と付き合う～	地域療育センター横山 史隆	63	52

(6) 管理課

職員採用状況（非常勤職員は除く。）

職種	看護師	作業療法士	臨床心理士	言語聴覚士	保育士	児童指導員	福祉相談員	事務員	合計
採用者	1	0	1	0	7	0	1	0	10
退職者	1	1	0	1	5	2	1	0	11

## V たっちほどがや

5月に新型コロナウイルス感染症の5類感染症へ移行があったが、施設内の感染対策については、移行前と同様に行った。それでも利用者や職員が幾度となく感染し、その都度、緊張した1年だった。そのような状況であったが、利用者同士の交流や短時間の外出などの可能な限りの利用者本位の支援を行った。

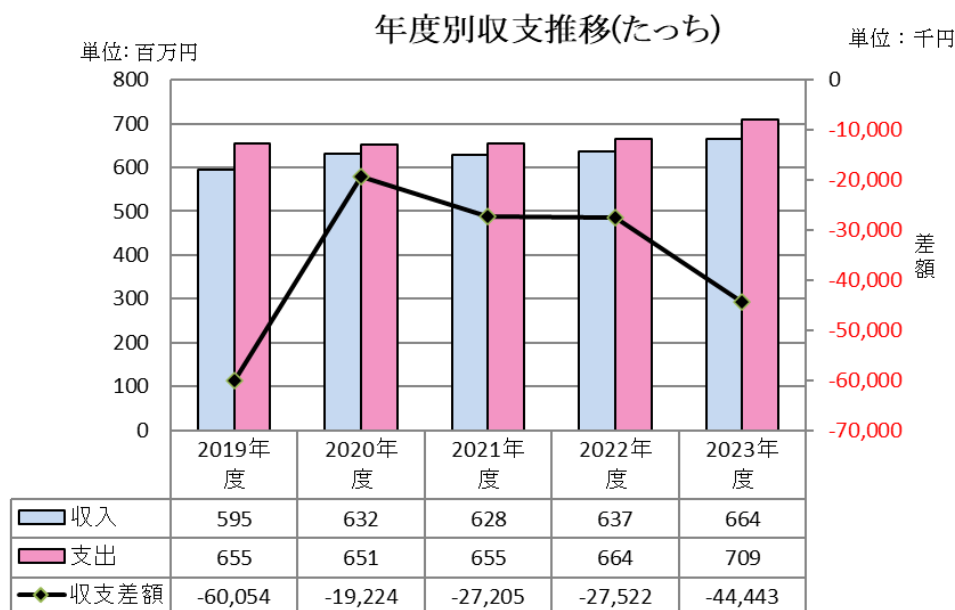
施設入所事業の職員配置状況については、欠員の充足が困難のなか、療養休暇を取得していた職員の復帰をフォローするため、夜勤が可能な職員の負担が増えた。また、利用者の健康状態も年々変化し、医療的ケアを必要とする利用者が増加しているが、夜間の看護師配置ができる状態ではないため、医療的ケアのできる職員の育成も急務となった。夜間の看護師配置がない状況で、医療的ケアのできる職員の育成は、今後、看護・支援体制の維持をしていくうえで、重要な取り組みとなっている。

たっちほどがや及びたっちいずみので実施している生活介護事業については、新規利用者の受け入れや一人当たりの週の利用回数を増やしたが、グループホームへの入居、他の生活介護事業所への移行や逝去などにより、通所利用者数は減った。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	41.2名/日	41.1名/日	99.8%
短期入所	7.8名/日	7名/日	89.7%
生活介護（通所）	23.5名/日	18.7名/日	79.6%
たっちいずみの生活介護（通所）	19.6名/日	16.4名/日	83.7%
たっちいずみの放課後等デイサービス	3.9名/日	3.8名/日	97.4%

## 2 資金収支差額の推移



【収入】新型コロナウイルス感染症の減少により、利用が増えたことによる事業収入の増加、補助金収入（物価高騰・処遇改善他）の増加

【支出】経年劣化による修繕費（換気扇・エアコン・トイレ・リフター・厨房機器等修理）が前年度より増加

## 3 施設全体の実績

### (1) 入所支援課

#### 入所支援・短期入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期入所 42枠	定数	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504	504	100.0%
	実績数	1,260	1,302	1,239	1,271	1,281	1,260	1,302	1,206	1,235	1,250	1,209	1,228	15,043	15,222	98.8%
	1日平均	42.0	42.0	41.3	41.0	41.3	42.0	42.0	40.2	39.8	40.3	41.7	39.6	41.1	41.7	98.6%
	占床率	100.0%	100.0%	98.3%	97.6%	98.4%	100.0%	100.0%	95.7%	94.9%	96.0%	99.3%	94.3%	97.9%	99.3%	98.6%
短期入所 8枠	実績数	229	161	217	238	227	207	220	224	224	233	192	177	2,549	2,170	117.5%
	1日平均	7.6	5.2	7.2	7.7	7.3	6.9	7.1	7.5	7.2	7.5	6.6	5.7	7.0	6.0	117.0%
	占床率	95.4%	64.9%	90.4%	96.0%	91.5%	86.3%	88.7%	93.3%	90.3%	94.0%	82.8%	71.4%	87.1%	74.4%	117.0%
	合計 50枠	定数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	600
実績数	1,489	1,463	1,456	1,509	1,508	1,467	1,522	1,430	1,459	1,483	1,401	1,405	17,592	17,392	101.1%	
1日平均	49.6	47.2	48.5	48.7	48.6	48.9	49.1	47.7	47.1	47.8	48.3	45.3	48.1	47.7	100.9%	
占床率	99.3%	94.4%	97.1%	97.4%	97.3%	97.8%	98.2%	95.3%	94.1%	95.7%	96.6%	90.6%	96.1%	95.3%	100.9%	

### (2) 計画相談業務

( ) 内は児童

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規契約件数	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	1	300.0%
計画更新件数	2(1)	2	3	2(2)	4	2	2	6	7(1)	2	3	4	39(4)	46(5)	84.8%
モニタリング件数	5	10	8	4	9	8	13(2)	12	7	6(2)	12	9	103(4)	89(4)	115.7%
合計	7	12	11	6	13	11	17	18	14	8	15	13	145(8)	135(9)	107.4%



(3) 通所・在宅支援課

ほどがや生活介護事業

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	403	415	421	411	437	397	408	400	388	382	369	377	4,808	4,583	104.9%
1日平均	20.2	18.0	19.1	19.6	19.0	18.9	18.5	18.2	18.5	19.1	17.6	18.0	18.7	18.0	104.0%

(4) たっちいずみの課

① 「和音」 (生活介護)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	351	355	379	343	348	332	328	329	339	276	310	272	3,962	4,005	98.9%
1日平均	17.6	17.8	17.2	17.2	15.8	16.6	15.6	16.4	16.9	16.2	16.3	13.6	16.4	16.4	100.0%

② 「りずむ」 (放課後等デイサービス)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	82	75	82	69	84	76	85	76	69	71	72	71	912	826	110.4%
1日平均	4.1	3.8	3.7	3.5	3.8	3.8	4	3.8	3.4	4.1	3.8	3.6	3.8	3.4	111.8%

(5) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
活動延べ回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、外部ボランティアの受け入れを中止した。

施設内行事

月	行事内容	参加者
4月	さくら祭り	利用者・職員
8月	夏祭り	利用者・職員
10月	にこにこ祭	利用者・職員
12月	クリスマス会	利用者・職員

## 4 各部署の報告

### (1) 入所支援課

医療的ケアができる職員を徐々に増やし、全体の7割程度まで増加させることができた。1階ユニットにも医療的ケアが必要な利用者があるため、今まで以上に必要不可欠なものとなっている。重度化や高齢化は避けては通れない現状ではあるが、日中活動支援を中心に施設内でできる調理や手作業的なものなどの利用者一人ひとりに合わせたプログラムに取り組むことにより、活動中に笑い声があがり、笑顔がみられた。また、より良い支援につなげるため、活動専任の職員が外部研修としてビックサイトで行われた介助機器やプログラム内容についての展示会に参加した。

家族の面会については、年度の後半より各居室でおこなった。施設内行事については、フロアやユニット毎になってしまうことが多くなったが、楽しんでもらえるような取り組みを行った。



### (2) 在宅・通所支援課

#### ①短期入所

5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となり、受け入れ時の感染拡大防止のための居室対応期間を3日間から2日間に変更した。5月、2月、3月は、ユニット内で新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、短期入所の利用を断ることが多かったが、占床率90%を超える月が多く、安定して受け入れることができた。新規利用の申し込みの受付も毎月実施し、2023年度は20件となった。次年度は5類感染症への移行から1年経過するため、居室対応期間を変更し、社会情勢に応じた対応をしていく。

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	55	57	60	52	55	56	56	66	70	52	55	56	690	615	112.2%
利用件数	49	33	48	51	47	46	46	48	55	51	43	41	558	451	123.7%
利用不可※	6	24	12	1	8	10	10	18	15	1	12	15	132	164	80.5%

※利用不可は満床等及び新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルやお断りが発生し、入所対応ができなかった件数

#### ②計画相談

2023年度については、利用契約の終了が3件あったが、新規利用の契約は3件あり、合計66件（うち4件は児童）となった。医療的ケア児者支援者養成研修を修了し、体制加算を2024年1月から算定開始した。また、一部の相談員の担当するケースを施設入所利用者に限らず、在宅生活を送っているケースも対象とし、長期的に相談支援事業を運営できるよう体制の整備を開始した。新型コロナウイルス感染症の5

類移行後はリモートではなく、家庭や事業所への訪問、担当者会議など実開催することが多くなった。また、区自立協相談部会、法人内相談支援事業担当者会議に出席し、情報交換などに取り組んだ。

### ③生活介護

2023年度については、2名の逝去、他2名の利用契約解除があったが、一方で、4月に卒業生2名、7月に利用者2名を受け入れ、祝日の開所も継続して行い、前年度よりも延べ利用数は増加し、安定した運営ができた。コロナ禍で制限していた歯磨きを再開し、送迎車の人数制限も解除した。また、4年ぶりに活動参観や1日外出を再開した。活動参観や年度末おつかれさま会については、多くの家族が参加され、好評だった。1日外出は以前よりも外出時間を短縮して実施したが、12名の利用者が外出した。調理活動も再開し、調理室で昼食作りを行った。今後も感染対策を継続しながら、制限していた活動を緩和し、楽しめる活動を行っていく。



一日外出



消防署との共同防災訓練



秋のイベント

### (3) いずみの課

#### ①生活介護

新規利用者3名を受入、1名の利用者が逝去された。年度の中盤までは利用者数も平均17名を推移していたが、年度の後半は、事業所内感染症対応の影響もあり、利用者数が減少した。そのため実績としては、前年度とほぼ同様になった。利用者の体調変化や医ケアのある利用者の増加により、日常ケアが増えている事、施設の面積に対して利用者数が飽和しているため、今後、新規利用者の受入をしていくには、拡充した通所施設の開設が必要である。



街頭募金活動



近隣散歩



プール活動

## ②放課後等デイサービス

今年度より週2日の利用も可能になり、2名の方が利用日を増やした。また1月には1名が逝去され、3月に1名が特別支援学校卒業となり契約終了となった。月平均として3.8名/日の実績となり、昨年より増加しているが数値目標の達成には至らなかった。学校の夏休みなどを利用して、家族参観や消防署協力の防災訓練、他事業所との交流、近隣住民とのふれあいなど地域との繋がりを再開した1年であった。また、利用者、家族を対象とした事業報告会を3月に実施した。



夏祭り



他事業所との交流



和音・リズム交流

## (4) 管理課

職員採用状況（非常勤職員は除く。）

職種	生活支援員	事務員	合計
採用者	7	0	7
退職者	6	1	7

生活支援員の欠員補充を行った。